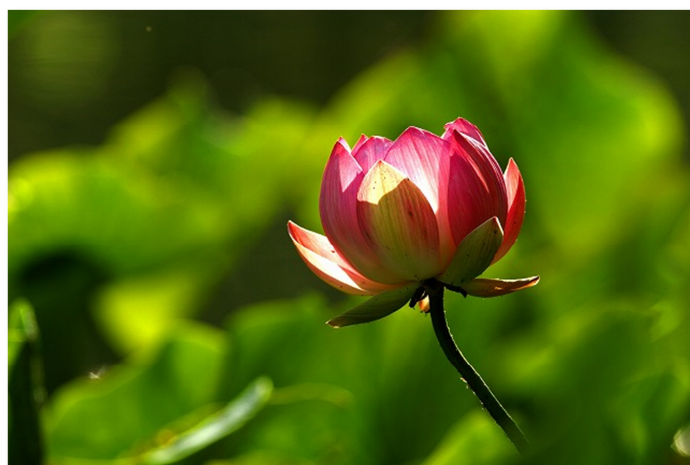


北広島市教育基本計画(2011-2020)

**推進計画** 《平成27～29年度》

---



平成27年3月

北広島市教育委員会

# 北広島市教育基本計画(2011-2020)

## 推進計画《平成 27～29 年度》 目次

### 教育推進計画について

1	教育推進計画の目的と位置づけ	.....	1
2	施策の体系	.....	1
3	計画の期間	.....	1

### 政策及び施策の推進について

1	先人たちが伝える精神と教育基本計画に 定めた視点の反映	.....	4
2	計画の進行管理（点検評価及び見直し）	.....	4
3	次期教育推進計画	.....	4

### 8つの政策と23の施策を進める個別事業

政策 1	やさしく支えあう教育連携の推進	...1～	6
政策 2	「生きる力」を育む学校教育の推進	...1～	16
政策 3	信頼され、魅力ある学校づくりの推進	...1～	14
政策 4	学びあい、教えあう社会教育の推進	...1～	7
政策 5	郷土愛を育む教育活動の推進	...1～	2
政策 6	生涯にわたる読書活動の推進	...1～	3
政策 7	芸術文化活動の振興	...1～	4
政策 8	健康づくりとスポーツ活動の推進	...1～	8
政策 1～8を支える経常経費		...1～	6

### 施策の方向性について

施策 1～23	...1～	23
---------	-------	----

# 教育推進計画について

## 1 教育推進計画の目的と位置づけ

この「北広島市教育基本計画(2011-2020)推進計画」(以下、「教育推進計画」という。)は、「北広島市総合計画(第5次)」の基本目標「人と文化を育むまち」に基づいて策定された「北広島市教育基本計画(2011-2020)」(以下、「教育基本計画」という。)に掲げる施策を着実に推進するため、個別・具体の事業を推進するとともに、進行状況を管理することを目的として策定するものです。また、この計画は市の教育計画体系の中で教育基本計画と各領域の諸計画・構想・プラン・方針などとの間に位置します。(図1)

## 2 施策の体系

教育推進計画は、教育基本計画の体系に基づき、「北広島市総合計画(第5次)2015 推進計画(平成27~29年度)」(以下、「市の推進計画」という。)に掲げられた事業のほか、国や道による委託事業や管理的な事務事業など、教育委員会が実施する事業全体を施策体系に示します。なお、市の推進計画に掲げる事業は、事業名・事業内容・年度計画などについて基本的に整合を図りません。(図2)

## 3 計画の期間

この教育推進計画の期間は、平成27年度から平成29年度までの3年間です。施策の点検評価により毎年見直しを行い、市の推進計画の見直しを踏まえながら、1年ごとに更新していきます。

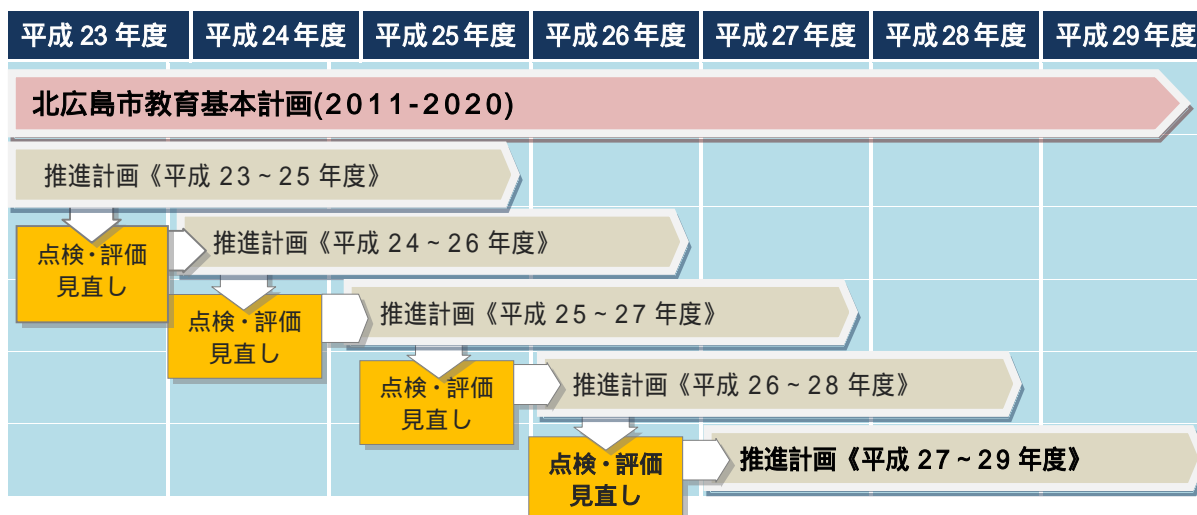


図1 北広島市の教育計画の体系

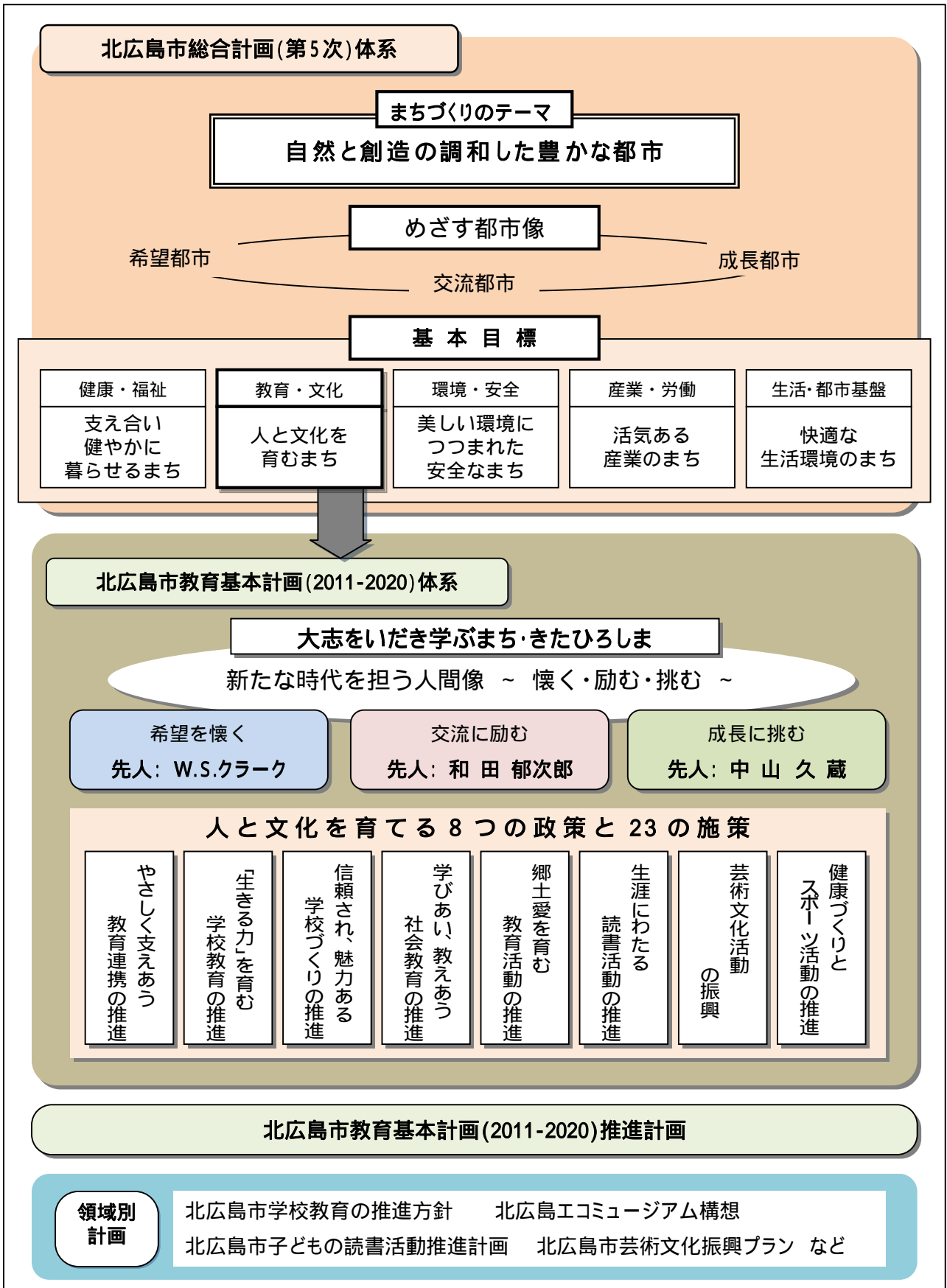
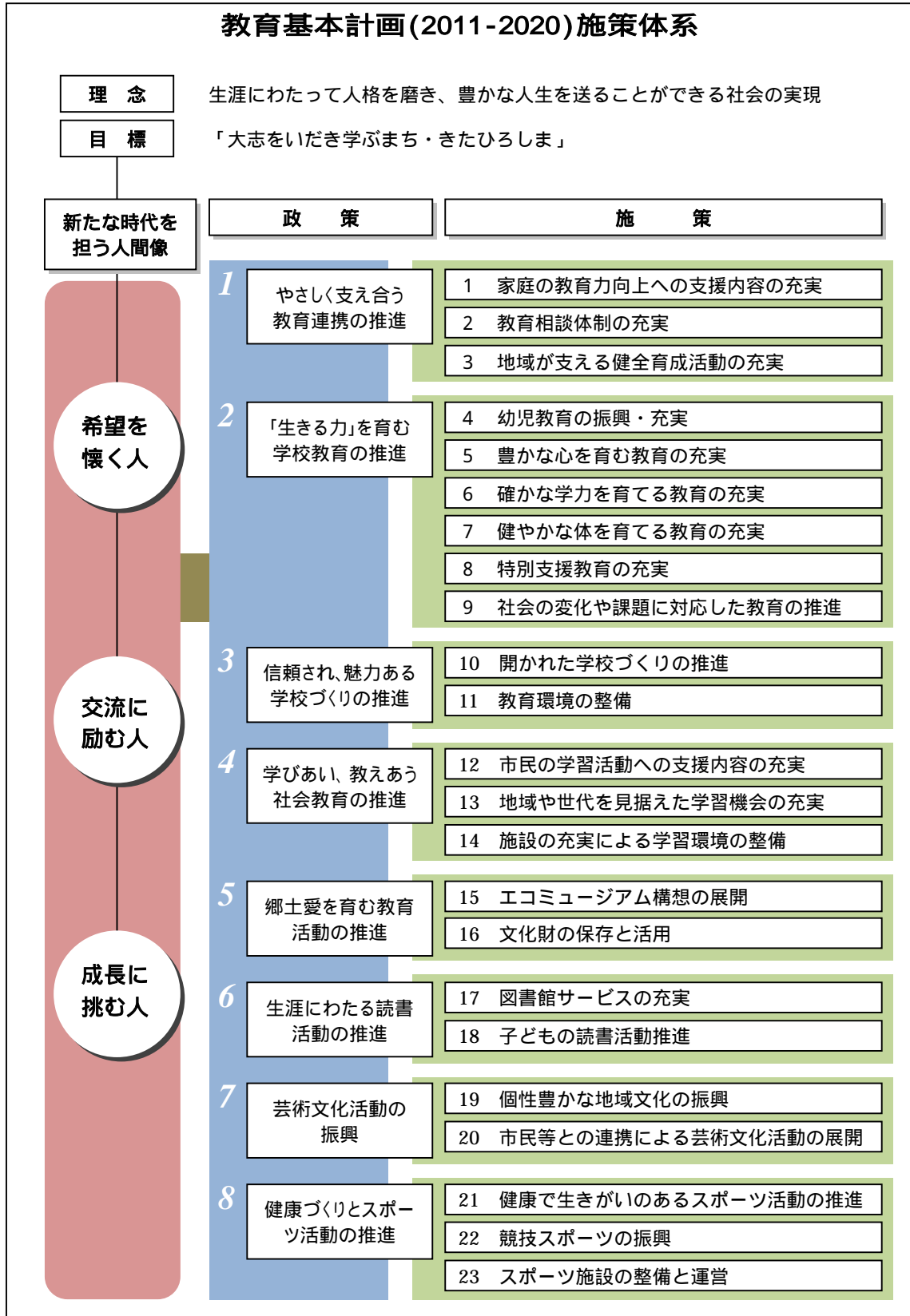


図2 北広島市教育基本計画の施策体系



## 政策及び施策の推進について

### 1. 先人たちが伝える精神と教育基本計画に定めた視点の反映

教育基本計画は、当市開拓期にゆかりのある偉大な先人、W.S.クラーク、中山久蔵、和田郁次郎の3人が伝える「懐く」・「励む」・「挑む」の精神を人材育成のキーワードとし、8つの政策と23の施策によって「これからの人づくり」を目指します。

また、教育基本計画には政策と施策を推進するうえで求められる5つの視点（「生涯学習環境整備」「社会貢献人材育成」「産学官民の連携」「地域の教育力」「総合的な教育施策」）を定めました。

教育推進計画では、教育基本計画を着実に推進するため、8つの政策・23の施策に基づいて実施する個別事業に、先人が伝える精神性や基本計画に定めた5つの視点を反映させていきます。

### 2. 計画の進行管理（点検と評価及び見直し）

教育推進計画は、教育基本計画に掲げた政策・施策を着実に実施していくための個別事業で構成しています。

人づくりを目指す政策・施策の進行状況や成果は、できる限り数値に置き換え、計画的な事業実施により着実に計画目標を達成するよう努めます。

そこで、一つひとつの個別事業において、先人たちが伝える精神「懐く」・「励む」・「挑む」を、事業を動かす推進力としてとらえ、その中から特に強く作用させるアクションを掲げます。（表1）

また、前述した5つの視点の中から、個別事業がより大きな成果を得るために必要とする視点を掲げ（表2）、一つひとつの事業の推進状況が教育基本計画の理念に沿うものであることを示します。

これらを踏まえ、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき毎年実施している「北広島市教育委員会が取り扱う事務について自ら行う点検及び評価」との整合も勘案し、毎年、事業のきめ細かな点検評価と施策ごとの評価・見直しを行うことにより、教育推進計画の進行状況を管理していきます。

### 3. 次期教育推進計画

次期教育推進計画は、上述した点検評価及び見直しについて北広島市教育施策審議会が審議した内容を踏まえ、市教育委員会が決定します。

表1 事業推進力となる先人の精神と事業に作用させるアクション

先人の精神(事業推進力)	アクション	該当する事業
W.S.クラーク 希望を <u>懐く</u>	めざす (堅実性) 備える (先見性) 創る (独創性)	目標を目指し堅実に歩みを進めてゆく事業 先を見た展開が必要な事業 北広島独自の内容をもつ事業
和田郁次郎 交流に <u>励む</u>	続ける (継続性) 整える (効率性) 拡げる (拡張性)	長期にわたる継続が必要な事業 効率化、縮小など整理が必要な事業 拡大・充実すべき事業
中山久蔵 成長に <u>挑む</u>	点検する (意識性) 改善する (向上性) 転換する (改革性)	点検を怠らず高い意識で進める事業 より高い成果を求め工夫・改善が必要な事業 廃止などの根本的な改革が必要な事業

表2 政策・施策の推進に求められる5つの視点

5つの視点	該当する事業
<b>視点1：生涯にわたる学習環境の充実</b> いつでも、どこでも、だれでもが学習することができる学習環境を整備する視点 「生涯学習環境整備」	生涯にわたる学習環境の充実に視点を置く事業 <b>事業の例</b> 【ハード事業】学校施設・体育施設等の改修事業など 【ソフト事業】生涯学習振興会支援事業、学校教育振興事業、文化財保存活用事業 など
<b>視点2：たくましく生きる力をもち、社会に貢献する人材の育成</b> 心身ともに健康で豊かな教養と社会性を有し、郷土を愛し、社会の一員として地域づくりに貢献できる人材を育てる視点 「社会貢献人材育成」	地域づくりに貢献できる人材の育成に視点を置く事業 <b>事業の例</b> 成人式開催事業、図書館フィールドネット連携事業、文化賞等表彰事業 など
<b>視点3：産・学・官・民の「協働社会」の推進</b> 産・学・官・民がそれぞれの機能を十分に発揮し、相互が補完し合いながら、新たな地域づくりを進めていく視点 「産学官民の連携」	産学官民の連携による地域づくりの進展に視点を置く事業 <b>事業の例</b> 芸術文化ホール運営委員会連携事業、芸術文化ホール管理 など
<b>視点4：学校、家庭及び地域住民が一体となった教育力の向上</b> 学校、家庭及び地域が、それぞれの役割と責任を自覚し、相互の連携協力により地域の教育力の向上を図る視点 「地域の教育力」	学校・家庭・地域の連携による教育力の向上に視点を置く事業 <b>事業の例</b> 市P連支援事業、青少年健全育成啓発事業、学校支援地域本部事業、エコミュージアム普及推進事業 など
<b>視点5：総合的な教育施策の推進</b> 学校教育と社会教育はもとより、子育てや経済・労働などの分野と連携し、総合的な教育施策を推進する視点 「総合的な教育施策」	行政内の連携による総合的な教育施策の進展に視点を置く事業 <b>事業の例</b> 家庭教育支援事業、読書環境整備事業、青少年関係事業 など

参考

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年6月30日法律第162号) 抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 8つの政策と23の施策を進める個別事業

教育基本計画及び教育推進計画の政策・施策体系に沿い、各施策の個別事業について、事業内容、推進計画、期待されるアクション、必要な視点、前年度の実績及び評価等を掲載します。

### \* 教育推進計画に掲載する事業

市の推進計画（第2章）に掲載された教育政策に係る事業  
 経常経費に係る事業（市の推進計画には掲載されない）

### \* 拡大事業の掲載方法について

市の推進計画と同様、教育推進計画でも継続分と拡大分を別個に掲載します。  
 ・個別事業の継続分及び拡大分を別々に掲載。（拡大分には【拡大】と表記）

## 凡例（個別事業の推進計画及び評価）

教育推進計画事業コード 2 - 07 - 003  
 政策通番 - 施策通番 - 事業番号

着色(黄) 市の推進計画に掲載された事業  
 着色なし 市の推進計画に掲載されていない 経常経費

期待されるアクションと説明

必要とされる視点と説明  
 : 不可欠な視点  
 : 必要な視点

アクション・視点に対する評価の参考とする指標

2-07-003	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	めざす	続ける	点検する	◎	○	平成26年度実績
食に関する指導の推進事業	児童・生徒が生徒にわかり健康な生活を送ることができるよう、学校給食、教科等の時間の中で、自分で健康を考える力を育むため、食に関する指導の充実を図る。	学校栄養教諭による食に関する指導の実施	学校栄養教諭による食に関する指導の実施 「食の課題と指導の手引き」改訂版の作成	学校栄養教諭による食に関する指導の実施	児童・生徒が健康な生活を送るために食習慣や食に関する自己管理能力等を身につけることを目指す。					学校栄養教諭を中心とした、食に関する指導を実施した。
					評価指標 食に関する授業実施時数					
					平成26年度の評価	A				平成26年度の評価
					望ましい食習慣を身に付け、地域健康を維持していくための食指導を実施した。					「食の課題と指導の手引き」を活用し、給食の時間、教科指導の時間に栄養教諭が中心となり指導を行った。栄養教諭の人員や抱負との関係、学校での指導時間の確保などから十分な効果が確保できない。
市計画<208> 給食センター	継続	継続	継続	継続						継続
		58	564	64						58

事業名・市計画番号・担当課

事業内容・市計画判定・3年間の計画内容

前年度事業のアクション・視点に対する評価及び説明  
 （評価A：できている、評価B：ある程度できている、評価C：できていない）

・前年度事業の実績  
 ・市計画判定  
 ・決算見込額

灰色帯：市の推進計画で新規に掲載された事業

赤帯：経常経費に係る事業



政策1 やさしく支えあう教育連携の推進

施策1 家庭の教育力向上への支援内容の充実

施策2 教育相談体制の充実

施策3 地域が支える健全育成活動の充実

【施策1 家庭の教育力向上への支援内容の充実】

- 1 あたたかな家庭づくりへの支援の充実
- 2 地域を取り巻く社会環境の変化や氾濫する情報への対応など、家庭の教育力向上のための学習機会や市民・関係団体と連携し、家庭教育を支援する柔軟なネットワークを充実します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション				特に必要とす視点				平成26年度実績
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	創る	拓げる	改善する	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	

1-01-001 家庭教育支援 事業	家庭の教育力向上のため、 関係する団体などと連携 し、家庭教育支援に関する 実践活動・交流活動を行 う。	平成27年度 実践活動の実施 継続	平成28年度 実践活動の実施 継続	平成29年度 実践活動の実施 継続	創る	拓げる	改善する	各学校をはじめ、庁内の子育て担当部門等と連携し、事業を効果的に進めることが必要。 学校・家庭・地域が一体となって家庭教育力の向上を目指す。	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	平成26年度実績 市内の小学校4年生 と中学校1年生を対 象に「きたひろし」 の「ま生活シート」の 取組を実施。 (回収率) 小学校73.0% 中学校71.6%
市計画<292> 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 60	継続 120	継続 120	評価指標	事業の取組みによる生活習慣の変化の割合	平成26年度の計画	平成26年度の計画	平成26年度の計画	平成26年度の計画	平成26年度の計画	平成26年度の計画	平成26年度の計画	継続 0

1-01-002 北広島市PTA 連合会支援事 業	児童生徒の健全育成を進め るため、各校母のPTAの 情報交換を図るとともに、 保護者を対象とした研修会 等を実施するPTA連合会 の活動を支援する。	平成27年度 PTA連合会への支 援 継続	平成28年度 PTA連合会への支 援 継続	平成29年度 PTA連合会への支 援 継続	めざす	続ける	点検する	連携支援による活発な活動の継続 を進める。	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	平成26年度実績 PTA連合会へ補助 金交付市P連母親 研究会9月7日参 加人数140名 市P連研究会11 月22日参加人数 200名
市計画<255> 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 325	継続 325	継続 325	評価指標	研修会参加人数	平成26年度の計画	平成26年度の計画	平成26年度の計画	平成26年度の計画	平成26年度の計画	平成26年度の計画	平成26年度の計画	継続 325

【施策2 教育相談体制の充実】

- 1 いじめ・不登校の問題を早期に解消するため、こどもＳＣ相談員（臨床心理士）、訪問相談員（メンタルフレンド）、スクールカウンセラー（道費）など専門的知識を有する人材を積極的に活用します。
- 2 不登校児童生徒の学校復帰に向け、「みらい塾」において学習指導や社会体験活動の向上を図ります。
- 3 インターネット上での新しい形のいじめやトラブル、犯罪被害を防ぐため、携帯電話の取扱いや情報モラルについて、児童生徒・保護者に対して啓発を図るほか、学校ネットパトロールを実施します。
- 4 青少年を取り巻く諸問題の把握と早期解決に向け、学校や中央児童相談所などと連携を強化していきます。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション		特に必要とする視点				平成26年度実績		
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携		地域の 教育力	総合的な 教育施策
			平成26年度の評価								

1-02-001 不登校いじめ 対策・教育相 談事業	不登校児童生徒の学校復帰 と社会的自立を支援するた め、保護者や学校、関係機関 と連携して、ひきこもりや不 登校の解消と未然防止を図 る。問題の早期解決を図る ため、児童生徒及びその保護 者を対象に面談や家庭訪問 による相談支援を行う。	平成27年度 適応指導教室「みら い塾」の運営 指導員の配置 子どもＳＣ相談員 (臨床心理士)、教育 相談員、訪問相談員 による相談の実施 NPOの活用	平成28年度 適応指導教室「みら い塾」の運営 指導員の配置 子どもＳＣ相談員 (臨床心理士)、教育 相談員、訪問相談員 による相談の実施 NPOの活用	平成29年度 適応指導教室「みら い塾」の運営 指導員の配置 子どもＳＣ相談員 (臨床心理士)、教育 相談員、訪問相談員 による相談の実施 NPOの活用	めざす 相談、支援を継続し、個々の状況 に応じた適切な対応を進める。問 題を抱える家庭に対して、迅速 に対応できる支援体制の充実	続ける A	点検する A	複雑多様化する要因に対応できる支援体制 早期対応、早期解消を進めることができる体制の確 立 学校、関係機関との連携体制	平成26年度実績 適応指導教室「み らい塾」の運営 指導員の配置 子どもＳＣ相談 員、教育相談員、 訪問相談員による 相談の実施 継続 13,140
市計画<249> 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 13,187	継続 13,057	継続 13,067	評価指標 不登校児童生徒の割合と適応指導教室「みらい塾」通級児童生徒数	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	継続 13,140	

1-02-001 不登校いじめ 対策・教育相 談事業 [拡大]	いじめ防止等の対策を効果 的に進めていくため、いじ め等問題対策委員会を開催 する。また、学校等におい ていじめ防止のための研 修等を実施する。	平成27年度 いじめ等問題対策委 員会の開催 いじめ防止等のため の研修会等の実施	平成28年度 いじめ等問題対策委 員会の開催 いじめ防止等のため の研修会等の実施	平成29年度 いじめ等問題対策委 員会の開催 いじめ防止等のため の研修会等の実施	めざす いじめ防止対策の改善。 教職員、保護者の意識向上。	続ける 委員会等の開催回数	点検する いじめ防止に関する意識の向上。	平成26年度実績
市計画<249> 学校教育課	拡大 事業費(千円)	拡大 458	292	292	評価指標 平成26年度の評価	平成26年度の評価	平成26年度の評価	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績
		懐く 励む		挑む		生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
平成26年度の評価												

1-02-002 青少年健全育 成啓発事業	事業内容 「地域の子どもは地域で育 てる活動」を推進するた め、学校、PTA、自治 会、関係団体と連携し、地 域に密着した青少年の健全 育成活動の推進と健全育成 の啓発を進める。	平成27年度 青少年健全育成大会 の開催 子どもサポーターセン ターだより「きず な」の発行	平成28年度 青少年健全育成大会 の開催 子どもサポーターセン ターだより「きず な」の発行	平成29年度 青少年健全育成大会 の開催 子どもサポーターセン ターだより「きず な」の発行	めざす 青少年をとりまく環境の変化に 対応した啓発活動を進める。	続ける 点検する	学校、保護者、地域が連携し育成活動を推進してい くための意識向上。	平成26年度実績
		継続 336	継続 336	継続 336	評価指標 委員会の開催回数	平成26年度の開催回数 A	平成26年度の評価 A 地域全体の意識の向上を図るため、学校、PTA、 地域、関係機関の協力により青少年健全育成大会を 開催した。広報誌「きずな」を発行し保護者や地域 に啓発を進めた。	青少年健全育成大 会の開催（6月22 日参加人数75人） 子どもサポーターセ ンターだより広報 誌「きずな」の発 行（年4回）
市計画<311> 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 336	継続 336	継続 336	平成26年度の開催回数 A	平成26年度の評価 A	継続 332	





事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション		特に必要とする視点			平成26年度実績			
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成		産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策
		平成26年度の評価			平成26年度の評価			平成26年度の評価					

1-03-003 放課後子ども 教室事業 [拡大]	小学校での実施する放課後子ども教室において、地元NPO法人と連携して体育指導を実施する。また、地元の人材を活用し、学習指導の補助を行なう。	平成27年度	平成28年度 地元NPO法人等が行う指導への活用	平成29年度 地元NPO法人等が行う指導への活用	めざす	続ける	点検する	地元の人材等の参加	平成26年度実績
市計画<312> 学校教育課	拡大 事業費(千円)	0	拡大 988	継続 988	評価指標	参加児童数	平成26年度の評価		

1-03-004 成人式開催事業	成人としての自覚と責任を促し、地域社会の一員としての期待を認識できるよう、新成人を祝う成人式を実施する。	平成27年度 成人式の開催	平成28年度 成人式の開催	平成29年度 成人式の開催	めざす	続ける	改善する	地域づくり、まちづくりに貢献できる人材の育成は必要であり、より多くの若者が集うよう事業内容を改善していく。	平成26年度実績 成人式の開催 (参加者数等) 参加者472名 参加率71.0% 対象者665名
市計画<251> 学校教育課	継続 事業費(千円)	683	継続 696	継続 696	評価指標	参加率(参加者/対象者)	平成26年度の評価	A	継続 604

1-03-005 青少年健全育 成振興事業	子どもたちの豊かな心を育むため、様々な体験活動、交流活動を推進する。	平成27年度 青春メッセージの開催 青少年リーダー養成事業(子ども会議)への参加 青少年体験交流事業への参加	平成28年度 青春メッセージの開催 青少年リーダー養成事業(子ども会議)への参加 青少年体験交流事業への参加	平成29年度 青春メッセージの開催 青少年リーダー養成事業(子ども会議)への参加 青少年体験交流事業への参加	めざす	続ける	点検する	学校、保護者、地域と連携した事業の開催 様々な体験・交流事業へ参加することにより、子どもたちの豊かな心を育成する。	平成26年度実績 少年の主張石狩大会(7月9日)中学生1名、青春メッセージ(11月22日)開催参加人数120人、子ども会議(11月22日)開催中学生12人、参加人数20人
市計画<253> 学校教育課	継続 事業費(千円)	65	継続 65	継続 65	評価指標	参加数	平成26年度の評価	A	継続 63

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション		特に必要とする視点				平成26年度実績		
		事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く	励む	挑む	生涯学習	社会貢献		産学官民	総合的な
									環境整備	人材育成		の連携	教育力

1-03-101 青少年健全育成推進委員会 (青少年健全育成事務経費)	事業内容 青少年の健全育成に関し必要なる事項を調査審議する。 委員15名	平成27年度 青少年健全育成推進委員会の開催	平成28年度 青少年健全育成推進委員会の開催	平成29年度 青少年健全育成推進委員会の開催	めざす 健全育成施策に対する意見や要望の聴取等による施策等の点検。	続ける	点検する	委員会の意見の市の施策への反映	平成26年度実績 青少年健全育成推進委員会の開催 (12月18日)
経常経費 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 120	継続 120	継続 120	評価指標 委員会の開催回数	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	継続	120

1-03-102 青少年健全育成経費 (青少年健全育成事務経費)	事業内容 5地区広域補導連絡協議会・北海道青少年育成協会 負担金 借上車経費	平成27年度 協議会・協会への参加	平成28年度 協議会・協会への参加	平成29年度 協議会・協会への参加	めざす 情報の収集・共有により健全育成施策を円滑に進める。	続ける	点検する	近隣市等との連携を図り健全育成を目指す。	平成26年度実績 協議会総会(8月8日、協議会研修会(11月13日)、特別研修会(9月19日)
経常経費 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 531	継続 531	継続 531	評価指標 協議会への参加回数	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	継続	517

政策2 「生きる力」を育む学校教育の推進

施策4 幼児教育の振興・充実

施策5 豊かな心を育む教育の充実

施策6 確かな学力を育てる教育の充実

施策7 健やかな体を育てる教育の充実

施策8 特別支援教育の充実

施策9 社会の変化や課題に対応した教育の推進

【施策4 幼児教育の振興・充実】

- 1 多様な体験を重視した特色ある幼児教育を推進するとともに、障がい児の幼稚園への入園を促進します。
- 2 家庭・地域と幼稚園等の連携を重視するとともに、幼稚園、保育所、小学校の連携を推進します。
- 3 教育環境の向上、教職員研修の充実を図るため幼稚園活動への支援を行います。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション					特に必要とする視点				平成26年度実績
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
2-04-001 幼稚園就園奨励費事業	私立幼稚園に通園する市内在住園児の保護者に入園料、保育料等の減免措置を行う。幼稚園の設置者に対し減免措置分を支援する。	平成27年度 入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成	平成28年度 入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成	平成29年度 入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成										平成26年度実績 入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成 対象園児 798名 基準単価変更
市計画<200> 児童家庭課	継続 事業費(千円)	継続 93,792	継続 93,976	継続 93,976										継続 99,431

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画				期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績		
		平成27年度		平成28年度		平成29年度		懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携		地域の 教育力	総合的な 教育施策
		事業内容	事業費(千円)	事業内容	事業費(千円)	事業内容	事業費(千円)									

2-04-002 幼稚園就園準備支援事業	幼稚園が実施する満2歳児を対象とした子育て支援事業の参加に係る保護者負担を支援する。	平成27年度 (繰越明許) 子育て支援事業参加費の助成	< 1,148 >	平成28年度 子育て支援事業参加費の助成	1,148	平成29年度 子育て支援事業参加費の助成	1,148	平成26年度の評価				平成26年度実績 子育て支援事業の参加費を助成対象園児 210名
	事業内容 継続	事業費(千円) 継続	1,148	継続	1,148	継続	1,148					継続

2-04-003 幼稚園協会連携事業	市内私立幼稚園8園の連携、協力体制を強化し、幼児教育の振興を図るため、幼稚園協会を支援する。	平成27年度 幼稚園協会に対する助成	160	平成28年度 幼稚園協会に対する助成	160	平成29年度 幼稚園協会に対する助成	160	平成26年度の評価				平成26年度実績 補助金の助成により、全市の幼児教員の交流が図られた。
	事業内容 継続	事業費(千円) 継続	160	継続	160	継続	160					継続

2-04-004 幼稚園振興事業	幼児教育の振興と保護者の負担軽減を図るため、幼稚園教員研修、障がい児教育における教材教具、障がい児教育における教材教具並びに人件費等の経費を助成する。	平成27年度 私立幼稚園の設置者に対する教材費、職員研修、障がい児教育費の助成	6,886	平成28年度 私立幼稚園の設置者に対する教材費、職員研修、障がい児教育費の助成	6,886	平成29年度 私立幼稚園の設置者に対する教材費、職員研修、障がい児教育費の助成	6,886	平成26年度の評価				平成26年度実績 補助金の助成により、幼児教育の充実が図られた。
	事業内容 継続	事業費(千円) 継続	6,886	継続	6,886	継続	6,886					継続



事業名 (担当課)	事業内容	年度計画				期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績
		事業内容				懐く 励む 挑む				生涯学習環境整備 社会貢献人材育成 産学官民の連携 地域の教育力 総合的な教育施策				
平成26年度の評価														

2-04-101 幼保小連携推進事業 (教育振興経費)	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	めざす 幼児教育の振興・充実を図るとともに幼稚園・保育園から小学校への円滑な移行を図る。	続ける	点検する	幼児教育について共通の理解と相互連携を図るための懇話会を設置し、幼稚園、保育園、小学校関係者の連携を深める。	平成26年度実績
	事業内容	懇話会の開催 懇話会の実施	懇話会の開催 懇話会の実施	懇話会の開催 懇話会の実施					
経常経費	継続	新規	継続	継続	評価指標	会議等の開催回数	懇話会による「懇話会」での意見を元にアクションプランを策定し、それに基づいた保育園参観研修や教員間交流、連携に関する説明会を実施。	継続	
教育総務課	事業費(千円)	0	60	60	平成26年度の評価	A	関係者による「懇話会」での意見を元にアクションプランを策定し、それに基づいた保育園参観研修や教員間交流、連携に関する説明会を実施。	継続	
					平成26年度の評価	A	アクションプランに基づき、子ども・教員・保護者を含めた交流や研修を全市的に企画する必要がある。	0	

【施策5 豊かな心を育む教育の充実】

- 1 人を思いやりや人とかかわる力を育てる豊かな体験活動を推進します。
- 2 基本的な倫理観や思いやりなどの心を育む教育を推進します。
- 3 いじめ、不登校や様々な問題に適切な対応をするともに、自他の理解を深め、よりよい人間関係を醸成する生徒指導を充実します。
- 4 豊かな感性や想像力を育む読書活動を推進します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション			特に必要とする視点				平成26年度実績	
		年度計画		懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力		総合的な 教育施策
		平成26年度の評価		平成26年度の評価				平成26年度の評価				
2-05-001 学校教育振興 事業	児童生徒の「生きる力」を育み、自ら課題を見つけ、主体的、創造的に取り組む資質を養う総合学習や、学校の創意工夫を活かした特色ある学校づくり、職業体験を通して社会人としての自立意識を育てるインターンシップ事業を推進する。	平成27年度 総合学習の実施 特色ある学校づくり 職場体験の実施	平成28年度 総合学習の実施 特色ある学校づくり 職場体験の実施	平成29年度 総合学習の実施 特色ある学校づくり 職場体験の実施	めざす 各校が独自の教育を推進するために継続して助成を行う。	続ける 点検する	児童生徒の「生きる力」を育み、社会性を身につける機会を充てるため、各校が自主性、独自性を生かした教育活動を行うことが必要である。	児童生徒の「生きる力」を育み、社会性を身につける機会を充てるため、各校が自主性、独自性を生かした教育活動を行うことが必要である。	児童生徒の「生きる力」を育み、社会性を身につける機会を充てるため、各校が自主性、独自性を生かした教育活動を行うことが必要である。	児童生徒の「生きる力」を育み、社会性を身につける機会を充てるため、各校が自主性、独自性を生かした教育活動を行うことが必要である。	平成26年度実績 補助金の助成により、児童生徒の「生きる力」が育まれた	
市計画<301> 教育総務課	継続 事業費(千円) 7,534	継続 7,534	継続 7,842	継続 7,534	継続 7,534	継続 7,534	評価指標 総合学習の実施状況 平成26年度の評価 A 各校教育振興会に助成することにより、各校が特色ある教育を実現している。	平成26年度の評価 A 助成により各校が自主性、独自性を生かし、様々な体験をさせることにより、児童生徒の「生きる力」が育まれた。	継続 7,534	継続 7,534		
2-05-002 創意工夫展・ 書写展事業	児童生徒の科学技術に対する興味関心を高め、創意・創造性を育成することにも、日本伝統の毛筆・硬筆を通じて個性の伸長と豊かな情操の涵養を図るため、創意工夫展及び書写展を開催する。	平成27年度 創意工夫展の開催 書写展の開催	平成28年度 創意工夫展の開催 書写展の開催	平成29年度 創意工夫展の開催 書写展の開催	めざす 子どもたちの発想した作品を多くの市民に関心を寄せてもらう。	続ける 点検する	子どもたちの発想した作品を多くの市民に関心を寄せてもらう。	子どもたちの発想した作品を多くの市民に関心を寄せてもらう。	子どもたちの発想した作品を多くの市民に関心を寄せてもらう。	子どもたちの発想した作品を多くの市民に関心を寄せてもらう。	平成26年度実績 創意工夫展の開催 (9月18日～23日、出品数156)、書写展の開催(1月21日～25日、出品数315)	
市計画<252> 学校教育課	継続 事業費(千円) 183	継続 183	継続 183	継続 183	継続 183	継続 183	評価指標 出展作品数 平成26年度の評価 A 創意工夫展、書写展を開催し子どもたちの作品を展示できた。	平成26年度の評価 A 学校と連携し開催を進めた。優秀作品には賞を授与し讃えた。	継続 183	継続 183		

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点			平成26年度実績
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	
平成26年度の評価											

2-05-003 心の教育推進 事業	児童・生徒に基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせるとともに、自尊感情や他人への思いやり、生命を尊重する心、公共の精神などにした豊かな心を養う教育の充実に取り組む。	福祉読本編集委員会の開催小・中各3回 小学校 19千円 中学校 15千円	福祉読本編集委員会の開催小・中各3回	福祉読本編集委員会の開催10回 福祉読本改訂版の作成 道徳教育用児童生徒用準教科書の購入 教師用指導書の購入	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成29年度	点検する	道徳教育や、福祉・人権教育を行う上で参考となる教材資料の提供が必要である。学校だけでなく、家庭、地域との連携した取り組みが必要である。	福祉読本編集委員会を小・中2回開催した。	
市計画<302> 学校教育課	継続	継続	継続	継続	5,078	80	34	継続	評価指標 配布した教材資料の活用状況 平成26年度の評価 A 福祉読本編集委員会を小中で4回開催し、福祉読本「ともに生きる」の授業での指導方法の工夫・改善を行った。	平成26年度の評価 A H26年度から使用している改訂版「ともに生きる」の実践交流を行い、指導方法の工夫・改善に資することができた。	継続	56

2-05-004 心の教室相談 事業	児童生徒の悩みや不安、ストレス等の解消を図るとともに、いじめや不登校の未然防止と早期把握を図るため、小中学校に心の教室相談員を配置する。	小学校8校、中学校6校に心の教室相談員を配置（1人当たり年間約4.00時間）	小学校8校、中学校6校に心の教室相談員を配置（1人当たり年間約4.00時間）	小学校8校、中学校6校に心の教室相談員を配置（1人当たり年間約4.00時間）	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成29年度	点検する	子どもたちの信頼関係の構築 学校、スクールカウンセラー、子どもサポートセンター相談員との連携	小学校8校、中学校6校に心の教室相談員を配置（1人当たり年間約4.00時間） 相談件数 小学校45件 中学校122件	
市計画<250> 学校教育課	継続	継続	継続	継続	6,292	6,292	6,219	継続	評価指標 相談件数 平成26年度の評価 A 相談員が、相談しやすい体制づくりを進め、いじめや不登校の未然防止や早期発見に努めた。	平成26年度の評価 A 不登校の要因は、複雑多様化していることから、スクールカウンセラー等の専門知識を有する人材と連携を図りながら対応を行なった。	継続	6,282

2-05-005 学校図書館活 用事業	学校図書館整備目標として設定された「学校図書館図書標準」を満たすため、重点的に中学校の図書購入を行うとともに、随時新しい図書の更新も行う。 また学校図書館の電子データベースによる管理化に伴い学校図書館センターを拠点として、学校図書の充実を図る。	学校図書購入費 図書センター（豆次郎費、図書センター更新資料費、リクエスト対応） 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の中学校への配置（3名）	学校図書購入費 図書センター（豆次郎費、図書センター更新資料費、リクエスト対応） 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の中学校への配置（3名）	学校図書購入費 図書センター（豆次郎費、図書センター更新資料費、リクエスト対応） 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の中学校への配置（3名）	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成29年度	点検する	読書活動は、子どもたちの豊かな感性や想像力を育む上で必要である。学校と市図書館、図書館同書との連携による魅力ある学校図書館整備（子どもたちが読みたくなる本の提供含む）が必要である。	学校図書購入費 図書センター（豆次郎費、図書センター更新資料費、リクエスト対応） 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の中学校への配置（3名）	
市計画<303> 学校教育課	継続	継続	継続	継続	15,770	15,770	15,299	継続	評価指標 一人あたり年間貸出冊数 平成26年度の評価 B 小中学校の図書充足率100%を達成しているものの、古書も多し、学校司書を中学校に配置し、読書活動の推進を図った。	平成26年度の評価 B 学校図書館の環境整備はある程度進められているが、学校図書館活用の取り組みや中学生の読書活動の推進の強化が今後の課題である。	継続	15,200

【施策6 確かな学力を育てる教育の充実】

- 1 基礎・基本をしっかりと身に付けさせ、それらを活用していく力を育てるために、個に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。
- 2 総合的な学習の時間を中心に、体験的・問題解決的及び探求的な学習を推進します。
- 3 学ぶ喜びや楽しさが実感できるような授業のあり方について実践的な研究を推進します。
- 4 学力検査等の結果を生かした授業方法の改善に努めます。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点				平成26年度実績	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く 励む 挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力		総合的な 教育施策
2-06-001 学校教育相談 員活用事業	学校を取り巻く環境は非常に複雑化してきており、課題も指摘されていることから、それらの課題を的確に取り組んでいくために、専門的知識や経験豊富な教員経験者を配置する。	平成27年度 学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施	平成28年度 学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施	平成29年度 学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施	めざす 各学校長や教育委員会職員等への指導・助言、情報提供による社会の変化に対応した学校経営等の充実。	点検する	継続	継続	継続	継続	平成26年度実績 学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施
市計画<304> 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 2,381	継続 2,506	継続 2,506	評価指標 各学校への訪問回数 平成26年度の評価 A 必要に応じて、各学校への訪問や指導・助言、情報提供等を行った。	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	継続	継続	2,495	継続

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点				平成26年度実績	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く 励む 挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力		総合的な 教育施策
2-06-002 学力向上推進 事業	市全体の学習状況を捉え、本市の課題を明らかにするとともに、子どもや保護者の欲を高める指導内容や個別に応じた指導方法の工夫・改善について研究、実践に取り組み、学力向上の指導の充実を図る。	平成27年度 標準学力検査の実施 学校改善プランの作成 全国学力・学習状況調査への参加	平成28年度 標準学力検査の実施 全国学力・学習状況調査への参加 学力向上PTの開催	平成29年度 標準学力検査の実施 全国学力・学習状況調査への参加 学力向上PTの開催	めざす 現状の児童生徒の学力状況を分析、検証し学力向上につながる指導方法等の検討。	点検する	継続	継続	継続	継続	平成26年度実績 標準学力検査の実施 学校改善プランの作成 全国学力・学習状況調査への参加
市計画<306> 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 5,367	継続 5,367	継続 5,367	評価指標 全市小中学校正答率 平成26年度の評価 A 標準学力検査結果や全国学力・学習状況調査結果を分析・検証したなかで、学力向上に向けた具体的な方策を示していくとともに、各校で指導方法の工夫が見られる。	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	継続	継続	5,353	継続

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画				期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績
		平成26年度の評価				平成26年度の評価				平成26年度の評価				
		懐く	励む	挑む	めざす	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策				

2-06-101 小学校教育振 興経費 (小学校教育 振興経費)	事業内容 小学校教育振興経費 (教材・教員等)	平成27年度 教材・教員教育環境 の整備 経常分8,047千円 臨時分 65千円	平成28年度 教材・教員教育環境 の整備	平成29年度 教材・教員教育環境 の整備	めざす 学校教育における教材教員の充 実。	続ける	点検する	各校の特色にあった教材教員の充実のため、学校 現場との連携を図る必要がある。	平成26年度実績 教材教員の整備 継続 12,854
	継続 事業費(千円)	継続 8,112	継続 8,112	継続 8,112	評価指標 平成26年度の評価 A 教材教員の充実を図った	平成26年度の評価 A			
	各校の特色、時代に合った教材教員が必要となつて おり、各校の事情に合った支出ができるよう、ま た、節減に努めながらも効果ある教育となるよう指 導している。								

2-06-102 中学校教育振 興経費 (中学校教育 振興経費)	事業内容 中学校教育振興経費 (教材・教員等)	平成27年度 教材・教員教育環境 の整備 経常分7,926千円 臨時分 3,008千円 (吹奏楽部楽器購入 等)	平成28年度 教材・教員教育環境 の整備	平成29年度 教材・教員教育環境 の整備	めざす 学校教育における教材教員の充 実。	続ける	点検する	各校の特色にあった教材教員の充実のため、学校 現場との連携を図る必要がある。	平成26年度実績 教材教員の整備 継続 12,112
	継続 事業費(千円)	継続 10,934	継続 10,934	継続 10,934	評価指標 平成26年度の評価 A 教材教員の充実を図った	平成26年度の評価 A			
	各校の特色、時代に合った教材教員が必要となつて おり、各校の事情に合った支出ができるよう、ま た、節減に努めながらも効果ある教育となるよう指 導している。								



【施策7 健やかな体を育てる教育の充実】

- 健康に必要な知識・実践的な態度を身につけるために、保健教育や体力向上の取り組みを推進します。
- 望ましい食習慣を身につけ、家庭や地域と連携した食育を推進します。
- 安全で安心な給食を提供する取り組みを進めるとともに、施設・設備の整備を進めます。
- 児童生徒が安心して学校生活が過ごせるよう、地域ぐるみで安全・安心な環境づくりを推進します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点				平成26年度実績				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成		産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
2-07-001 中学校体育連盟支援事業	中学校体育連盟が実施する市内、管内大会を通じて中学生の体位、体力の向上、スポーツに対する意識の向上と心身の健全な育成を図るため、同連盟への事業費の支援により、生徒間の交流や習得した技能を発揮する場の提供をはじめ、市内スポーツと市教育の振興に寄与する。	平成27年度 中体連春季大会、中体連秋季大会の開催 石狩管内中体連の開催	平成28年度 中体連春季大会、中体連秋季大会の開催 石狩管内中体連の開催	平成29年度 中体連春季大会、中体連秋季大会の開催 石狩管内中体連の開催	めざす 中学校における体育部活動振興のため継続して助成を行う。	続ける	点検する	中学校における体育振興、生徒間の交流、スポーツに対する意識の向上と心身の健全な育成が必要である。	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	平成26年度実績
市計画<223> 教育総務課	継続 事業費(千円)	継続 5,323	継続 5,323	継続 5,323	評価指標 実施種目数			中学校における体育振興、生徒間の交流、スポーツに対する意識の向上と心身の健全な育成が必要である。						継続 5,323

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点				平成26年度実績				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成		産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
2-07-002 全国全道中体連・中学校文化部活動大会出場支援事業	市立中学校の生徒が、日本中学校体育連盟、北海道中学校体育連盟が主催する大会に出場する場や予選大会を経て全道規模以上の文化部活動大会等に参加する場、その派遣に要する費用の一部を助成する。	平成27年度 全国・全道中体連大会に出場する場での経費の助成 全国・全道規模の文化部活動大会に出場する経費の助成	平成28年度 全国・全道中体連大会に出場する場での経費の助成 全国・全道規模の文化部活動大会に出場する経費の助成	平成29年度 全国・全道中体連大会に出場する場での経費の助成 全国・全道規模の文化部活動大会に出場する経費の助成	めざす 中学生が部活動に対し十分な活動ができるよう支援し、部活動を活性化させる。	続ける	点検する	中学校における部活動の活性化と併せて、保護者負担の軽減を図ることが必要である。						平成26年度実績 中体連全道大会 56名出場 中体連全国大会 1名出場 文化部活動全道大会 1団体出場(大曲中学校吹奏楽部)
市計画<225> 教育総務課	継続 事業費(千円)	継続 2,100	継続 2,100	継続 2,100	評価指標 大会出場生徒数			中学校における部活動の活性化と併せて、保護者負担の軽減を図ることが必要である。						見直し 1,973

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点			平成26年度実績	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備		社会貢献 人材育成

2-07-003 食に関する指導の推進事業	児童・生徒が生涯にわたり健康な生活を送ることができるよう、学校給食、教科等の時間の中で、自分で健康を考える力を育むため、食に関する指導の充実を図る。	平成27年度	平成28年度	平成29年度	児童・生徒が健康な生活を送るために食習慣や食に関する自己管理能力等を身につけることを目指す。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	58	58
		学校栄養教諭による食に関する指導の実施	学校栄養教諭による食に関する指導の実施 「食の課題と指導の作成 手引き」改訂版の作成	学校栄養教諭による食に関する指導の実施											
市計画<208> 給食センター	継続 事業費(千円)	継続 564	継続 61	継続 61	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	58

2-07-003-1 食に関する指導の推進事業 [拡大]	アレルギーがある児童生徒の保護者や教職員を対象とした講演会や、市内小中学校教職員を対象とした給食への異物混入発生時の対応について勉強会を開催する。	平成27年度	平成28年度	平成29年度	安全安心な給食を提供していくために、食物アレルギー及び異物混入に対する取組みを行なうて行く。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続
		食物アレルギーに対して正しい理解を促すために、講師を招いて市民向けの講演会を実施。	食物アレルギーに対して正しい理解を促すために、講師を招いて市民向けの講演会を実施。 異物混入発生時の対応の勉強会を実施	食物アレルギーに対して正しい理解を促すために、講師を招いて市民向けの講演会を実施。 異物混入発生時の対応の勉強会を実施											
市計画<373> 給食センター	拡大 事業費(千円)	拡大 32	継続 128	継続 128	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続

2-07-004 学校給食衛生管理事業	給食を実施するうえで、食品等の安全衛生管理が最も重要であることから、施設設備機器類を整備、更新するとともに微生物検査等を実施し、徹底した衛生管理を実施して安全で安心な給食を提供する。	平成27年度	平成28年度	平成29年度	衛生管理を徹底するために設備機器を整備・更新し、安心・安全な給食を提供する。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続
		給食用食品の微生物検査の実施 給食施設・設備の更新	給食用食品の微生物検査の実施 給食施設・設備の更新	給食用食品の微生物検査の実施 給食施設・設備の更新											
市計画<207> 給食センター	継続 事業費(千円)	継続 3,850	継続 7,702	継続 7,862	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション		特に必要とする視点			平成26年度実績			
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成		産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策
		平成26年度の評価			平成26年度の評価			平成26年度の評価					
2-07-004-1 学校給食衛生 管理事業 [拡大]	事業内容 小中学校の食器更新計画に 基づき、計画的に更新す る。	平成27年度 食品の安全衛生管理 に対し、千歳保健所 より指導のあった高 性能断熱食缶を整 備。	平成28年度 調理機器の更新 継続 1,277	平成29年度 調理機器の更新 継続 10,451	めざす 衛生管理を徹底するために設備 機器を整備・更新し、安心・安 全な給食を提供する。	続ける	点検する	施設設備機器類を計画的に更新し、衛生管理体制の 充実を図る。	平成26年度実績				
市計画<351> 給食センター	拡大 事業費(千円) 7,440	継続 7,440	継続 1,277	継続 10,451	評価指標 設備機器更新率 平成26年度の評価			平成26年度の評価					
2-07-005 学校給食費公 会計化事業	事業内容 適正で透明な会計処理及び 給食費収納に係る教職員の 事務負担軽減のため、私会 計で運営している学校給食 費の公会計化を実施する。	平成27年度 学校給食費の公会計 化に向けた検討	平成28年度 収納管理システムの 構築	平成29年度 公会計による給食費 会計の運営	めざす 事務の透明性の向上、保護者の 負担の公平性の確保する。	続ける	点検する	学校給食費の予算及び決算処理に関する透明性の一 層の向上図り、教職員等の事務軽減を図る。	平成26年度実績				
市計画<350> 給食センター	継続 事業費(千円) 0	継続 0	継続 9,983	継続 4,627	評価指標 進捗率・収納率 平成26年度の評価			平成26年度の評価					
2-07-101 学校保健事業 (小学校保健 経費・中学校 保健経費)	事業内容 児童・生徒及び教職員の健 康保持・増進を図り、定期 健康診断や定期歯科検診等 の各種検診事業を実施す る。	平成27年度 各種検診事業、関係 備品購入、健康づく り研修会の開催 内科検診看護師賃金 小学校9,316千円 中学校5,036千円	平成28年度 各種検診事業、関係 備品購入、健康づく り研修会の開催 内科検診看護師賃金	平成29年度 各種検診事業、関係 備品購入、健康づく り研修会の開催 内科検診看護師賃金	めざす 学校保健安全法に基づき児童生 徒及び教職員の健康診断を実施 し、健康を保持する。	続ける	点検する	児童生徒の健やかな体を育てる教育を進めていく ため、健康状態を把握することが必要である。 体力向上、規則正しい生活習慣の確立などについ て、学校だけでなく、家庭、地域との連携した取組 が必要である。	平成26年度実績 各種検診事業、関 係備品購入、内科 検診看護師賃金				
経常経費 学校教育課	継続 事業費(千円) 14,352	継続 14,352	継続 14,352	継続 14,352	評価指標 健康診断受診率 平成26年度の評価 A 児童、生徒の健康診断及び教職 員の健康診断を実施した。		A	平成26年度の評価 A 児童・生徒の各種健康診断の充実(平成24年度より 耳鼻科検診開始)及び教職員の教職員の健康管理体 制の充実が図られた。	継続 14,245				



事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点			平成26年度実績			
		事業内容		懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成		産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策
		平成26年度の評価		平成26年度の評価			平成26年度の評価					

2-07-102 スポーツ振興センター負担金等 (小学校管理経費・中学校管理経費)	事業内容	平成27年度 学校スポーツ振興センターへの加入 小学校2,955千円 中学校1,657千円	平成28年度 学校スポーツ振興センターへの加入	平成29年度 学校スポーツ振興センターへの加入	めざす 在籍児童生徒全員の加入負担金の支出。	続ける	点検する	児童生徒のけが等に対し、医療費等の補償を行うとともに、日頃からの安全管理を行うことが必要である。	平成26年度実績
	経常経費 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 4,612	継続 4,612	継続 4,612	評価指標 補償件数	平成26年度の評価 A	発生した児童生徒のけが等に対する医療費等の補償を適切に実施した。	継続 4,681

2-07-103 北広島市小・中学校給食運営委員会経費 (小学校給食運営経費・中学校給食運営経費)	事業内容	平成27年度 運営に関する重要な事項に対するの助言・委員等から助言を受け、 小学校357千円 中学校357千円	平成28年度 運営に関する重要な事項に対するの助言・委員等から助言を受け、 小学校277千円 中学校277千円	平成29年度 運営に関する重要な事項に対するの助言・委員等から助言を受け、 2回開催	めざす 学校給食運営に関する重要な事項について助言を受け、 学校給食の運営を適正に行ううえで必要な委員会である。	続ける	点検する	透明性のある学校給食の運営を適正に行ううえで必要な委員会である。	平成26年度実績
	経常経費 給食センター	継続 事業費(千円)	継続 714	継続 554	継続 198	評価指標 開催回数	平成26年度の評価 A	学校給食運営に関する重要な事項について助言をうけ、学校給食は適正に運営されていた。	継続 396

2-07-104 学校給食施設維持管理経費 (小学校給食運営経費・中学校給食運営経費)	事業内容	平成27年度 施設維持管理経費 小学校 1,528千円 臨時 1,280千円 中学校 4,186千円 臨時 3,148千円 営繕 4,509千円	平成28年度 施設維持管理経費	平成29年度 施設維持管理経費	めざす 学校給食を安定的に提供するうえで施設整備等を適正に維持する。	続ける	点検する	学校給食の一環として食教育にあたり教材としての学校給食を提供する。	平成26年度実績
	経常経費 給食センター	継続 事業費(千円)	継続 14,651	継続 10,142	継続 10,142	評価指標 配食数	平成26年度の評価 A	安定した学校給食の提供を行なうため、計画的に施設・設備の修繕等を行なった。	継続 11,608

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点			平成26年度実績			
		事業内容		懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成		産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策
		平成26年度の評価		平成26年度の評価			平成26年度の評価					
2-07-105 学校給食運営 経費 (小学校給食 運営経費・中 学校給食運営 経費)	学校給食を提供するための 運営経費 栄養士3名・ボイラー・技士 2名分の報酬含む	平成27年度 市内小・中学校運営 経費 小学校 8校 中学校 6校 札幌養護学校 1校 小 53,367千円 中 61,070千円 臨時 73,007千円	平成28年度 市内小・中学校運営 経費 小学校 8校 中学校 6校 札幌養護学校 1校	平成29年度 市内小・中学校運営 経費 小学校 8校 中学校 6校 札幌養護学校 1校	めざす 栄養のバランスがとれた給食を 提供し食生活の改善を図る。	拓げる 改善する	改善する	学校給食を通して食に関する正しい知識と望ましい 食習慣を身につけることが重要である。	市内小・中学校運 営経費 小学校 8校 中学校 6校 札幌養護学校 1校			
	経常経費 給食センター	継続 事業費(千円) 256,022	継続 256,022	継続 256,022	継続 256,022	評価指標 配食数 平成26年度の評価 A 児童生徒が楽しく食事をすること、望ましい食習慣 の形成を図ること、食事を通して好ましい人間関係 の育成を図ることを目標に、栄養のバランスが取れ た給食を提供した。	平成26年度の評価 A	継続	231,181			
2-07-106 北海道学校給 食研究協議会 負担金 (小学校給食 運営経費)	学校給食に係る調査研究及 び情報交換を行い学校給食の 向上を図るための北海道給 食研究協議会運営経費 道内各市町村が会員	平成27年度 学校運営に必要な情 報の収集・提供及び 情報交換 理事会・役員会の開 催 関係官庁及び関係機 関との連携	平成28年度 学校運営に必要な情 報の収集・提供及び 情報交換 理事会・役員会の開 催 関係官庁及び関係機 関との連携	平成29年度 学校運営に必要な情 報の収集・提供及び 情報交換 理事会・役員会の開 催 関係官庁及び関係機 関との連携	めざす 学校給食に係る調査研究及び情 報交換を行う。	拓げる 改善する	改善する	学校給食に係る調査研究及び情報交換を行う。	学校運営に必要な 情報の収集・提供 及び情報交換 理事会・役員会の 開催 関係官庁及び関係 機関との連携			
	経常経費 給食センター	継続 事業費(千円) 37	継続 37	継続 37	継続 37	評価指標 加入市町村数 平成26年度の評価 A 学校給食に関する調査研究及び 情報交換を行なった。	平成26年度の評価 A	継続	37			

## 【施策8 特別支援教育の充実】

- 通常の学級、特別支援学級、通級指導教室での一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援を充実します。
- 特別支援教育コーディネーターを中心として全教職員による推進体制を充実します。
- 特別支援学校や関係機関との連携を充実します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション		特に必要とする視点				平成26年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	
			平成26年度の評価		平成26年度の評価				

2-08-001 特別支援教育 就学奨励費援 助事業	事業内容 特別支援学級への就学を奨励するとともに、保護者の負担を軽減するため学用品費等を支援する。また、通級指導教室児童を対象に通学費の支援を行う。	平成27年度 支援対象者に学用品や通学費などの助成 小学生26名 中学生18名 通級児童40名 小学校1,174千円 中学校 981千円	平成28年度 支援対象者に学用品や通学費などの助成 小学生26名 中学生18名 通級児童40名	平成29年度 支援対象者に学用品や通学費などの助成 小学生26名 中学生17名 通級児童40名	めざす 障がいを持つ児童生徒が、十分な教育を受ける機会を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減。	続ける 点検する	障がいを持つ保護者の経済的負担の軽減を図ることが必要である。	平成26年度実績 小学校16人 中学校10人 通学費40人の支給
	市計画<209> 学校教育課	継続 事業費(千円) 2,155	継続 2,222	継続 2,265	評価指標 援助児童生徒数 平成26年度の評価 A 特別支援学級に在籍する児童・生徒及び通級指導教室に通学する児童の保護者へ学用品等の経費の助成を行った。	平成26年度の評価 A 特別支援学級に在籍する児童・生徒及び通級指導教室に通学する児童の保護者に制度を周知し、経済的負担の軽減を図った。	継続 2,155	

2-08-002 特別支援教育 推進事業	事業内容 特別な支援を必要とする子どもたちの教育的ニーズに対応していくため、また教員の理解と資質の向上、保護者の理解を進めるとともに、学校内の体制の整備、学校・保護者に対する特別支援教育支援員・特別支援学級介助員を配置する。	平成27年度 特別支援教育支援員(17人)、特別支援学級介助員(14人)の配置 相談・指導の実施 教員研修の実施 特別支援教育講演会の開催 検査器具等の整備	平成28年度 特別支援教育支援員の配置(22人) 特別支援学級介助員の配置(14人) 相談・指導の実施 教員研修の実施 特別支援教育講演会の開催 検査器具等の整備	平成29年度 特別支援教育支援員の配置(22人) 特別支援学級介助員の配置(14人) 相談・指導の実施 教員研修の実施 特別支援教育講演会の開催 検査器具等の整備	めざす 通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童の支援、学校全体による支援体制の充実。	拡げる 改善する	特別な配慮が必要な児童に対する教員の共通理解と十分な支援体制を整えることが必要である。 特別な支援教育について、学校だけではなく、保護者や地域の理解を深めることが必要である。	平成26年度実績 特別支援学級支援員16人、特別支援学級介助員14人を配置及び特別支援学級の備品・消耗品の購入、特別支援学級合同宿泊学習・運動会の実施
	市計画<211> 学校教育課	継続 事業費(千円) 36,646	継続 42,462	継続 42,462	評価指標 支援員配置数 平成26年度の評価 A 特別支援学級支援員、特別支援学級介助員配置により特別支援学級合同宿泊学習・運動会の実施できた。	平成26年度の評価 B 配慮を必要とする児童生徒への対応について学校全体で取り組む体制づくりは整備されつつあるが、今後学校の事情に応じて計画的に配置していくことが必要である。	拡大 34,917	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点			平成26年度実績		
		事業内容	事業費(千円)	継続	652	めざす	続ける	点検する		生涯学習 環境整備	社会員献 人材育成

2-08-101 就学指導委員会 (小学校教育 振興経費)	特別支援教育を必要とする児童生徒の就学について、調査、検討するため就学指導委員会を開催する。 委員16名	平成27年度 教育支援委員会に名 籍変更するとともに に、委員会の役割 を、就学時及び就学 中の一貫した児童生 徒への支援機能を付 加して開催する。	平成28年度 教育支援委員会の開 催	平成29年度 教育支援委員会の開 催	専門家による調査や検査結果に基づき、対象児童生徒の保護者への適切な就学指導と就学先の提供。	めざす	続ける	点検する	障がいを持つ児童生徒の保護者に、子どもの状況や学校、家庭が共に、子どもの成長を支援していくことについて理解をしてもらうことが必要である。	平成26年度実績	就学指導委員会 開催(3回)
	継続 事業費(千円)	継続 652	継続 652	継続 652	継続	652	評価指標 就学指導委員会開催回数	平成26年度の評価 A	就学時検診での検査結果や各学校の依頼による在籍児童生徒の検査結果を基に、その児童生徒に適切な就学先の検討を行い、保護者に提供することができた。	継続	652

2-08-102 特別支援教育 アドバイザー の配置 (教育委員会 事務局運営経 費)	障がい児教育の専門的な知識を有する人材を学校教育課に2名配置する。(非常勤)	平成27年度 専門職非常勤職員配 置(2名)し、学校 への訪問・指導助 言・教育相談を充実 する。	平成28年度 専門職非常勤職員配 置(2名)し、学校 への訪問・指導助 言・教育相談を充実 する。	平成29年度 専門職非常勤職員配 置(2名)し、学校 への訪問・指導助 言・教育相談を充実 する。	各学校長や教職員への指導・助言、情報提供及び保護者との相談など、特別支援教育の理解と指導力の向上を図るための支援体制の充実。	めざす	拡げる	改善する	特別な配慮が必要な児童に対する教員の共通理解と十分な支援体制を整えることが必要である。特別支援教育について、学校だけではなく、保護者や地域の理解を深めることが必要である。	平成26年度実績	専門職非常勤職員2 名配置、学校・教 職員に対し指導・教 助言、情報提供や 保護者との相談な どや、就学指導全 般に 対する業務を 実施
	継続 事業費(千円)	継続 5,111	継続 5,111	継続 5,111	継続	5,111	評価指標 特別支援教育相談件数	平成26年度の評価 A	就学指導の面で、適切な対応と支援をしていただくことを図るため非常勤職員を配置し、支援体制の充実に努めた。	継続	5,007

2-08-103 特別支援教育 関連協議会 (教育振興経 費)	知的障がい及び言語障がい教育の振興を図るため、北海道障害児教育連盟、北海道言語障害児研究協議会への参加する。	平成27年度 北海道障害児教育連 盟、北海道言語障害 児研究協議会への参 加	平成28年度 北海道障害児教育連 盟、北海道言語障害 児研究協議会への参 加	平成29年度 北海道障害児教育連 盟、北海道言語障害 児研究協議会への参 加	北海道障害児教育連盟、北海道言語障害児研究協議会への参加。協議会へ参加することで、学校間の連携や情報交換が行われ、教職員の資質向上等の観点からも必要である。	めざす	続ける	点検する	協議会へ参加することにより、学校間の連携や情報交換が行われ、教職員の資質向上等の観点からも必要である。	平成26年度実績	北海道障害児教育 連盟、北海道言語 障害児研究協議会 への参加
	継続 事業費(千円)	継続 76	継続 76	継続 76	継続	76	評価指標 各協議会への参加状況	平成26年度の評価 A	就学指導の面で、適切な対応と支援をしていただくことを図るため非常勤職員を配置し、支援体制の充実に努めた。	継続	69



## 【施策9 社会の変化や課題に対応した教育の推進】

- 国際化に対応するため、外国語指導助手(ALT)のもと、コミュニケーション能力の育成を図ります。
- 情報活用能力の育成や情報モラル教育を推進します。
- 市の共通実践課題として、環境、福祉、人権、平和教育を位置づけ、より充実・発展させるための取組みを推進します。
- 姉妹都市東広島市との交流を通して、お互いの歴史や文化を理解し、ふるさと意識の醸成を推進します。
- 望ましい社会性や勤労観・職業観を育成するキャリア教育を推進します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション				特に必要とするとする視点				平成26年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成26年度の評価								

2-09-001 外国語指導助手活用事業	児童・生徒の英語発音やコミュニケーション能力育成の向上を目的に各学校の外国語授業等に英語指導助手を派遣し、外国語授業等の充実を図る。	平成27年度 外国人の指導助手4名任用	平成28年度 英語指導助手4名を計画的に各小中学校に派遣	平成29年度 英語指導助手4名を計画的に各小中学校に派遣	めざす 新学習指導要領による小、中学校における外国語(英語)に対する指導が重要な位置を占めることに対応した、外国語授業の充実。	広げる 改善する	平成26年度 免許外教員が教える小学校の外国語活動の授業への支援体制が必要である。 英語指導助手の学校への派遣、地域の人材の活用が必要である。	平成26年度実績	英語指導助手を計画的に各小中学校へ派遣(4名)
市計画<213> 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 15,446	継続 15,688	継続 15,720	評価指標 英語指導助手数	平成26年度の評価	継続	15,120	

2-09-002 学校ICT環境整備事業	情報化社会へ対応するため、情報処理能力向上をはじめ、ICTを活用した授業への対応による学力の向上、校務処理の効率化を図るため、児童生徒・教職員用コンピュータ、周辺機器、アプリケーションの整備を行う。	平成27年度 校務用コンピュータの更新・保守・修繕、アプリケーション等の購入、プロジェクタースタンドの交換	平成28年度 校務用コンピュータの更新・保守・修繕、アプリケーション等の購入、プロジェクタースタンドの交換	平成29年度 校務用コンピュータの更新・保守・修繕、アプリケーション等の購入、プロジェクタースタンドの導入	めざす 情報化社会に適応、より充実した学校教育のため、計画的に更新、新しい技術の導入を行う。	点検する	ICTを活用し、より充実した教育環境を提供するためには、日々変化する情報通信技術に対応していくことが必要である。	平成26年度実績	小学校教育用コンピュータに児童用タブレット端末319台、教師用ハイブリッドPC9台を整備。 既存機器の保守、修繕等
市計画<212> 教育総務課	継続 事業費(千円)	継続 66,906	継続 78,221	継続 86,635	評価指標 学校ICT機器の稼働状況	平成26年度の評価	継続	55,300	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点				平成26年度実績
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	創る	続ける	点検する	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	

2-09-003 郷土資料教材 化事業	地域に根ざした授業を行った め、市内小・中学校の教員が 独自で開発した教材や、市内 の教育資源を教材として各教 科に活用できる資料をデジタル 化し、教育委員会のホームページ に掲載して地域に根ざした 授業の充実を図る。	平成27年度 社会科副読本編集委 員会、郷土教材化編 集委員会の開催 デジタル教材の検討	平成28年度 社会科副読本編集委 員会の開催5回 郷土教材化編集委員 会の開催 デジタル教材の作成	平成29年度 社会科副読本編集委 員会の開催5回 郷土教材化編集委員 会の開催 デジタル教材の作成	創る	続ける	点検する	生まれ育った地域をより知るこ とによる郷土愛や 授業への興味関心を引く独自の教材の提供が必要で ある。	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	平成26年度実績 平成27年度改訂に 向けて、社会科副 読本編集委員会を3 回開催した。
市計画<228> 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 2,587	継続 72	継続 72	評価指標 開発した教材数/目標とする教材開発数	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 B	社会科副読本により、郷土に対する関心を高め地域 に根ざした特色ある教育を行うことができた。ま た、郷土資源を活用したデジタル教材を今後増やし ていく必要がある。	継続	継続	継続	継続	73	

2-09-004 姉妹都市子ど も大使交流事 業	小中学生から継続して姉妹都市で ある東広島市と友好親善を深める とともに、学習効果を還元して るさと意識を高めることにより、 阿市の相互理解と連携意識を育 み、また、広島市原爆死没者慰 霊式並びに平和祈念式に参列するこ とにより、平和を専ら心懸して 児童生徒を始め広く市民に浸透し ていくことに寄与する。	平成27年度 児童生徒を東広島市 に派遣 東広島市児童生徒の 受入れ 交流校訪問(児童生 徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰 霊式並びに平和祈念 式への参列	平成28年度 児童生徒を東広島市 に派遣 東広島市児童生徒の 受入れ 交流校訪問(児童生 徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰 霊式並びに平和祈念 式への参列	平成29年度 児童生徒を東広島市 に派遣 東広島市児童生徒の 受入れ 交流校訪問(児童生 徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰 霊式並びに平和祈念 式への参列	めざす	続ける	点検する	交流事業を継続することによりふるさと意識の高 揚を図るとともに、平和の重要性を認識させ、大使 の交流。また、平和の大切さを 学ぶ。	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	平成26年度実績 小中学生合同の子 ども大使を編成 児童生徒を東広島 市に派遣、東広島 市生徒の受入れ、 交流校訪問(生徒 間交流)の実施、 広島市原爆死没者 慰霊式並びに平和 祈念式に参列
市計画<300> 教育総務課	継続 事業費(千円)	継続 2,806	継続 2,806	継続 2,806	評価指標 子ども大使派遣、受入児童生徒数	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	小中学生を子ども大使として東 広島市、広島市に派遣し、姉妹 都市交流、実感をもった平和教 育を行った。	継続	継続	継続	継続	2,814	

政策3 信頼され、魅力ある学校づくりの推進

施策10 開かれた学校づくりの推進

施策11 教育環境の整備

【施策10 開かれた学校づくりの推進】

- 1 家庭や地域の教育的ニーズに対応した教育活動を推進します。
- 2 学校経営プログラムによる学校経営の推進とマネジメント・サイクルによる学校改善を推進します。
- 3 学校関係者からの学校に対する評価や結果、教育活動の成果について、保護者や地域に周知するなど、広報活動を充実します。
- 4 地域の方々の教育活動への参加や学校資源を地域へ提供するなど学校と地域の双方の連携を推進します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点				平成26年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	
3-10-001 学校施設開放 事業	地域住民に学習活動の場を提供するとともに、地域と学校の交流を深める。	平成27年度 H26事業終了	平成28年度	平成29年度	めざす 学校施設の 有効利用と市民ニ ーズに応えた学 習活動の場の提供	整える	点検する	評価指標 開放回数	平成26年度の 評価	平成26年度実績 実績なし
市計画<214> 教育総務課	継続 事業費(千円)	終了			平成26年度の 評価 A 地域が必要とす る活動の場を提 供している			平成26年度の 評価 A	平成26年度の 評価 B	継続 0
3-10-002 学校評議員等 運営支援事業	地域や社会に開かれた学校づくりを推進するため、小・中学校で学校評議員を委嘱し、学校運営等に關して学校との意見交換を行う。また学校関係者評議員を委嘱し、各学校が教育活動や学校運営等について自己評価した結果について、評価をもちょうとうなど、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動の展開を図る。	平成27年度 学校評議員・学校 関係者評議員を委 嘱 全体会議を各校で開 催	平成28年度 学校評議員・学校 関係者評議員を委 嘱 全体会議を各校で開 催	平成29年度 学校評議員・学校 関係者評議員を委 嘱 全体会議を各校で開 催	めざす 学校から保護者や 地域の充実と、保 護者の教育活動へ の反応への推進。	続ける	点検する	評価指標 会議開催回数	平成26年度の 評価 A	平成26年度実績 学校評議員及び学 校関係者評議員 による全体会議を 開催し、保護者や 地域の意見を学校 運営に反映した。
市計画<215> 学校教育課	継続 事業費(千円)	276	継続	276	平成26年度の 評価 A 各学校で学校評 議員会、学校 関係者委員会を 開催し、委員と の意見交換や、自 己評価結果につ いての評価を行 った。			平成26年度の 評価 A	平成26年度の 評価 A	継続 276

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画				期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績
		平成26年度の評価				平成26年度の評価				平成26年度の評価				
		懐く	励む	挑む		めざす	続ける	点検する		生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	
3-10-003 コミュニティ・スクールの導入促進に関する調査研究事業	地域に開かれ、支えられる学校づくりの推進が期待されるコミュニティ・スクールの導入を促進するため、文部科学省の指定を受け、試行的に西部地区にコミュニティ・スクールの設置し調査研究を実施する。	平成27年度 学校運営協議会議の運営 コミュニティ・スクールの研究会の開催及び研修費	平成28年度 学校運営協議会議の運営 委員報酬・会議消耗品 コミュニティ・スクールの研究会及び研修	平成29年度 学校運営協議会議の運営 委員報酬・会議消耗品 コミュニティ・スクールの研究会及び研修	めざす 開かれた学校づくりを目指し保護者、地域、学校が一体となりコミュニティ・スクールの確立を目指す。	続ける コミュニティ・スクールの確立を目指す。	点検する 開かれた学校づくりを目指し保護者、地域、学校が一体となりコミュニティ・スクールの確立を目指す。							平成26年度実績 西部コミュニティ・スクール運営委員会の開催 全国コミュニティ・スクール研究会などへの参加
市計画<353> 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 394	継続 508	継続 508	評価指標 会議開催回数	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	継続 508	



【施策11 教育環境の整備】

- 1 研修機会の充実や適切な教職員評価を通じて、教職員の資質の向上を図ります。
- 2 適正な規模の集団の中で学ぶことができる環境づくりを推進します。
- 3 教育施設の老朽化や、児童生徒数の増減に対応した施設の整備を推進します。
- 4 児童生徒の安全と学習環境の向上に配慮した施設・設備の整備を推進します。
- 5 二学期制や小中一貫教育等の新しい教育システムについて検討を進めます。
- 6 家庭、地域による学校への支援を支える取組みを推進します。
- 7 小・中・高等学校教育等への就学を支援します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		特に必要とする視点					平成26年度実績			
		期待されるアクション		平成26年度の評価			生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成		産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策
		懐く	励む	挑む	平成26年度の評価							

3-11-001 学校教育団体 活動支援事業	事業内容 教職員の資質向上と教育内 容及び学校経営の充実を図 るため、教育関係団体で行 う事業費の一部を支援す る。	平成27年度 教育研究会、小中学校 校長会、小中学校 教頭会、進路指導連 絡協議会に対する助 成	平成28年度 教育研究会、小中学校 校長会、小中学校 教頭会、進路指導連 絡協議会に対する助 成	平成29年度 教育研究会、小中学 校校長会、小中学校 教頭会、進路指導連 絡協議会に対する助 成	めざす 本市における学校教育を振興す るため、事業成果を検証しなが ら継続的な支援を行う。	続ける	点検する	市内の教職員が一体となり、本市の教育振興につ いてさまざまな観点から継続的に研究、調査、研修 等を行うことは必要である。	平成26年度実績 教育研究会に助成 3,654千円 小中学校校長会に 助成400千円 小中学校教頭会に 助成300千円 進路指導連絡協議 会に助成76千円
市計画<216> 教育総務課	継続 事業費(千円)	継続 4,630	継続 4,430	継続 4,430	評価指標 教職員の資質向上			平成26年度の評価 A 各教育関係団体が、それぞれの立場で調査、研究、 研修活動したその成果は、教職員の資質向上や学校 経営の充実に活かされている。	継続 4,430

3-11-002 教師用指導書 等整備事業	事業内容 教員に指導書及び教科書を 配布し、指導方法の工夫改 善及び学力の向上を図る。	平成27年度から使 用する小学校後期分 及び平成28年度か ら使用する中学校前 期分の指導書、教師 用教科書の配布	平成28年度から使 用する中学校後期分 の指導書、教師用教 科書の配布	平成29年度 平成28年度から使 用する中学校多学年 使用の指導書、教科 書の配布	めざす 使用する教科書の改訂に伴い、 各学校へ必要となる指導書等の 配布。	続ける	点検する	学力向上のための指導方法の工夫改善などを行う ために、教師用の教科書、指導書は必要不可欠であ るが、配布にあたっては、必要最小限に努める必要 がある。	平成26年度実績 平成27年度から使 用する小学校の教 科用図書にかかる 教師用指導書及び 教科書の整備を 行った。
市計画<229> 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 12,604	継続 4,334	継続 1,625	評価指標 配布実績			平成26年度の評価 A 配付にあたっては、学校規模、教員配置等を精査 し、配付するとともに、指導方法の工夫・改善が図 られた。	継続 9,427



事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点			平成26年度実績			
		年度計画		懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成		産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策
		平成26年度の評価		平成26年度の評価			平成26年度の評価					

3-11-006 理科教材等整備事業	理科教育で必要となる教材教具を、小中学校に購入・更新し、教育の充実を図る。(各校2年に1回)	平成27年度 各小中学校に理科教材等の購入・更新 小学校1,680千円 中学校1,568千円	平成28年度 各小中学校に理科教材等の購入・更新	平成29年度 各小中学校に理科教材等の購入・更新	めざす 理科における観察、実験教育の質を向上するために必要な教材教具の整備。	続ける	点検する	理科教育においては、授業時数、指導内容が増加し、観察、実験を重視するものとなっていることから、実験機器などの多くの教材が必要であり、整備することは必要である。	平成26年度実績 小学校5校(北の台、大曲東、双葉、緑ヶ丘、陽香分校) 中学校4校(西部、西の里、広葉、緑陽)に理科教材を整備
市計画<217> 教育総務課	継続 事業費(千円)	継続 3,248	継続 3,272	継続 3,272	評価指標 文部科学省の整備目標達成率 平成26年度の評価 A 新学習指導要領に対応した理科教材を整備した。	継続	継続	継続	3,210

3-11-007 学校施設管理 機器整備事業	良好な教育環境を維持するために必要な草刈機、除雪機などの管理機器の保守管理及び修繕を行うとともに、耐用年数を経過した機器を更新する。	平成27年度 草刈機、除雪機の保守管理及び修繕 小学校231千円 中学校181千円	平成28年度 草刈機、除雪機の保守管理及び修繕 耐用年数の経過した草刈機の更新 除雪機の購入	平成29年度 草刈機、除雪機の保守管理及び修繕 耐用年数の経過した草刈機の更新 除雪機の購入	めざす 児童生徒の学習環境を良好かつ適切に保持・管理するため、管理機器の日常的な保守、管理。	続ける	点検する	教育的な視点から学校施設の環境整備は重要であり、効率的に実現するため、適切な管理機器の保守管理や計画的に更新を行うことは必要である。学校業務主事が効率的に業務を行うための学校環境整備も重要である。	平成26年度実績 草刈機、除雪機の保守管理及び修繕 耐用年数の経過した除雪機のメンテナンスを実施
市計画<22> 教育総務課	継続 事業費(千円)	継続 412	継続 1,100	継続 1,100	評価指標 保守・整備状況 平成26年度の評価 B 良好な教育環境の整備を実施することができたが、今後、耐用年数の経過した草刈機の更新や除雪機の購入を計画的に実施していく必要がある。	継続	継続	見直し	652

3-11-009 北の台小学校 校舎屋体大規模 改造・屋体 地震補強事業	建築後37年以上経過しており、外壁や屋根面等老朽化が顕著なため、内外部の大規模改造工事に併せて、地震補強工事、非構造部材の耐震化工事、トイレ等の改修工事を実施する。	平成27年度 (校舎) 大規模改造工事 工事監理	平成28年度 H27事業終了	平成29年度	めざす 良好な教育環境を維持するため校舎屋体大規模改造及び屋体地震補強工事。	続ける	点検する	良好な教育環境を維持するため、校舎屋体大規模改造、屋体地震補強工事を行う必要がある。	平成26年度実績 (屋体) 地震補強工事 非構造部材耐震化 大規模改造工事 (校舎) エレベーター設置 工事
市計画<226> 教育総務課	継続 事業費(千円)	継続 379,150	終了		評価指標 進捗率 平成26年度の評価 A 屋体大規模改造、地震補強工事及び校舎棟の工レベーター設置 工事をを行い、良好な教育環境を維持することができた。	継続	継続	継続	124,514





事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点			平成26年度実績			
		年度計画		懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成		産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策
		平成26年度の評価		平成26年度の評価			平成26年度の評価					

3-11-013 東部小学校講 堂防音機能復 旧事業	温度保持換気設備機器等 (暖房機、空調機、送風機 等)の老朽化により、本来 の機能が低下し、良好な教 育環境が阻害されるため、 設備機器を新機種に更新し て防音機能を復旧する。	平成27年度 実施設計委託	平成28年度 防音機能復旧工事 工事監理	平成29年度 H28事業終了	めざす 良好な教育環境を維持するため の設備機器の更新。	続ける	点検する	良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設 備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新する 必要がある。	平成26年度実績
市計画<271> 教育総務課	継続 事業費(千円)	継続 1,030	継続 24,473	終了	評価指標 進捗率	平成26年度の評価			継続

3-11-014 緑ヶ丘小学 校舎・講堂防 音機能復旧事 業	温度保持換気設備機器等 (暖房機、空調機、送風機 等)の老朽化により、本来 の機能が低下し、良好な教 育環境が阻害されるため、 設備機器を新機種への更 新工事を実施する。	平成27年度 防音機能復旧工事 工事監理	平成28年度 H27事業終了	平成29年度	めざす 良好な教育環境を維持するため の設備機器の更新。	続ける	点検する	良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設 備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新する 必要がある。	平成26年度実績
市計画<275> 教育総務課	継続 事業費(千円)	継続 66,680	終了		評価指標 進捗率	平成26年度の評価			継続 2,042

3-11-015 学校施設非構 造部材耐震化 事業	屋内体育館において、大規模 改造工事の対象とならない小 中学校8校(東部小、西部小、 大曲小、西の里小、双葉小、 緑ヶ丘小、西部中、広葉中の 8校)について、目視点検等の 結果を踏まえて天井等落下防 止対策等(吊り天井、照明器 具、バスケットゴール等)を行 う。	平成27年度 事業を平成31年度 まで先送りとする。	平成28年度	平成29年度	めざす 良好な教育環境を維持するため の屋内体育館の非震部材の耐震 化を図る。	続ける	点検する	良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の非 構造部材の耐震化を図る必要がある。	平成26年度実績
市計画<360> 教育総務課	継続 事業費(千円)	見直し			評価指標 進捗率	平成26年度の評価			継続

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点				平成26年度実績	
		平成27年度		平成28年度		懐く		社会貢献			総合的な教育施策
		事業内容	事業費(千円)	事業内容	事業費(千円)	励む	挑む	人材育成	産学官民の連携		
平成26年度の評価											

3-11-016 屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業	大規模改造工事を実施していない築20年以上経過している屋内体育館の4校(大曲中、西の里中、東部中、大曲東小)に、大規模改造工事(非構造部材耐震化工事)を実施する。	平成27年度 (西の里中、大曲中) 大規模改造工事 非構造部材耐震化工事 工事監理	平成28年度 (大曲東小、東部中) 大規模改造工事 非構造部材耐震化工事 工事監理	平成29年度 H28事業終了	めざす 良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る。	続ける	点検する	良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図るための実施設計を行った。		平成26年度実績 実施設計委託
	継続 事業費(千円)	継続 316,074	継続 387,700	終了	評価指標 進捗率	平成26年度の評価 A		良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図るための実施設計を行った。		継続 11,278

3-11-018 東部中学校校舎大規模改造事業	建築後24年以上が経過し、老朽化が顕著なため、校舎棟の大規模改造工事を実施する。	平成27年度	平成28年度	平成29年度 大規模改造工事 工事監理	めざす 良好な教育環境を維持するため、校舎大規模改造工事。	続ける	点検する	良好な教育環境を維持するため、校舎の大規模改造工事を行う必要がある。		平成26年度実績 実施設計委託
	継続 事業費(千円)	継続	見直し	見直し 427,400	評価指標 進捗率	平成26年度の評価 A		良好な教育環境を維持するため、校舎の大規模改造を図るための実施設計を行った。		継続 6,198

3-11-019 大曲東小学校講堂防音機能復旧事業	温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)の老朽化により、本庁の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。	平成27年度	平成28年度 実施設計委託	平成29年度 防音機能復旧工事 工事監理	めざす 良好な教育環境を維持するため、設備機器の更新。	続ける	点検する	良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新する必要がある。		平成26年度実績
	継続 事業費(千円)	継続	見直し 1,110	見直し 35,320	評価指標 進捗率	平成26年度の評価		平成26年度の評価		継続

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画				期待されるアクション		特に必要とする視点				平成26年度実績				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	めざす	続ける	点検する	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備		社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策
		事業内容				平成26年度の評価		平成26年度の評価		平成26年度の評価						

3-11-021 西の里中学校 校舎防音機能 復旧事業 [新規]	平成8年度に更新した温度保持換気設備機器類の再更新を実施する。			平成29年度 実施設計委託	めざす 良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。	続ける 点検する	良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。									平成26年度実績
市計画<363> 教育総務課	新規 事業費(千円)			新規 1,280	評価指標 進捗率 平成26年度の評価		平成26年度の評価									

3-11-022 西の里小学校 校舎防音機能 復旧事業 [新規]	平成6年度に更新した温度保持換気設備機器類の再更新を実施する。			平成29年度 実施設計委託	めざす 良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。	続ける 点検する	良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。									平成26年度実績
市計画<364> 教育総務課	新規 事業費(千円)			新規 1,200	評価指標 進捗率 平成26年度の評価		平成26年度の評価									

3-11-023 東部中学校講 堂防音機能復 旧事業	温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）の老朽化により、本邦の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新規種に更新して防音機能を復旧する。			平成27年度 実施設計委託	めざす 良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。	続ける 点検する	良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。									平成26年度実績
市計画<369> 教育総務課	継続 事業費(千円)			継続 35,320	評価指標 進捗率 平成26年度の評価		平成26年度の評価									継続

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション		特に必要とする視点				平成26年度実績		
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携		地域の 教育力	総合的な 教育施策
			平成26年度の評価								

3-11-024 大曲中学校北 校舎棟大規模 改造事業	事業内容 建築後4.2年以上経過 し、老朽化が顕著なため、 北校舎棟の大規模改造工 事を実施する。	平成27年度 大規模改造工事 工事監理	平成28年度 H27事業終了	平成29年度	めざす 良好な教育環境維持するための 校舎大規模改造工事。	続ける 点検する	良好な教育環境を維持するため、校舎大規模改造 工事を行う必要がある。	平成26年度実績 実施設計委託
市計画<370> 教育総務課	継続 事業費(千円) 149,327	継続 149,327	終了		評価指標 進捗率 平成26年度の評価 A 良好な教育環境を維持するた め、校舎の大規模改造を図るた めの実施設計を行った。	平成26年度の評価 A 良好な教育環境を維持するた め、校舎の大規模改造を行っ た。	継続 1,890	

3-11-031 小中学校周辺 環境整備事業 [新規]	事業内容 市内小中学校敷地内駐車場 舗装やグレーチング等の外 構工事、屋外物置などの付 属建築物及び屋外施設(テ ニスコート、フェンス、防球ネット 等)更新。	平成27年度 小学校遊具修繕 北の台小物置更新	平成28年度 小学校遊具新設 大曲小学校外構整備	平成29年度 東部小学校駐車場整 備	めざす 良好な教育環境維持するための 小中学校周辺環境整備。	続ける 点検する	良好な教育環境を維持するため、小中学校周辺環 境整備を行う必要がある。	平成26年度実績
市計画<375> 教育総務課	新規 事業費(千円) 8,659	継続 11,664	継続 1,545		評価指標 進捗率 平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A		

3-11-025 学校支援地域 本部事業	事業内容 学校を地域全体で支える体 制を整えていくため、学校 支援地域本部を設置し、地 域の住民等の参画による学 校支援を推進する。	平成27年度 学校支援ボランティア ア運営経費の助成、 授業補助員の配置	平成28年度 学校支援ボランティア ア運営経費の助成、 授業補助員の配置	平成29年度 学校支援ボランティア ア運営経費の助成、 授業補助員の配置	創る 地域が学校を支援する仕組みを 見直し、学校の負担を軽減する とともに、事業の効率性と有効 性を高める。	改善する 学校と地域が一体となって教育力の向上を目指す ことは重要。生涯学習振興会の協力を得て実施。地 域のボランティア活動の活性化も助長する。	平成26年度実績 学校支援ボラン ティア活用事業15 校、授業補助員活 用事業16校3,200 時間
市計画<317> 社会教育課	継続 事業費(千円) 7,872	継続 7,935	継続 7,935		評価指標 取組み件数、ボランティア登録件数 平成26年度の評価 A 地域で学校を支援する体制が定 着してきている。	平成26年度の評価 A 学校、地域ともに事業に対する理解が深まってきて いる。	継続 7,935



事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点			平成26年度実績				
		事業内容	事業費(千円)	継続	2,809	継続	2,809	懐く		励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成

3-11-026 児童生徒の通 学費支援事業	事業内容	保護者の経済的負担の軽減を図るため、遠距離通学等で、公共交通機関を利用して市立小中学校に通学している児童・生徒及び自家用車による送迎を常としてい る児童・生徒の保護者に対し、通学に要する経費の一部を助成する。	平成27年度 対象児童生徒の保護者 に通学費の一部を助成 小学校2,195千円 中学校 374千円	平成28年度 対象児童生徒の保護者 に通学費の一部を助成	平成29年度 対象児童生徒の保護者 に通学費の一部を助成	めざす	続ける	点検する	遠距離通学に要する経費を支援し、平等に教育を受ける機会を確保。	平成26年度実績	対象児童生徒の保護者に通学費の一部を支援
	市計画<220> 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 2,569	継続 2,809	継続 2,809	評価指標 支援件数	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	遠距離通学に要する経費の経済的負担の軽減を図ることが必要である。	継続 2,710	

3-11-027 高等学校等入 学準備金支給 事業	事業内容	市内に住所を有し高等学校等に入学した生活困窮世帯の生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、入学時に必要となる経費の一部として、入学準備金を支援する。	平成27年度 入学準備金の支給 120名	平成28年度 入学準備金の支給 140名	平成29年度 入学準備金の支給 140名	めざす	続ける	点検する	経済的な理由により就学が困難な生徒に対し、入学時に必要な経費の一部を支援することは、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利、学習意欲の向上を図る上で必要である。	平成26年度実績	入学準備金の支給 82名
	市計画<232> 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 2,400	継続 2,800	継続 2,800	評価指標 支援件数	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	保護者の経済的負担の軽減が図られるとともに、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利の保障が図られている。	継続 1,640	

3-11-028 要保護・準要 保護児童生徒 援助事業	事業内容	生活困窮世帯(要保護)や経済的困窮世帯(準要保護)の児童・生徒に対し、就学に必要な経済的援助を行うことで、平等に義務教育を受ける権利を保障する。	平成27年度 学用品費・修学旅行 費・給食費・医療費 等の援助 生活扶助の基準額の見直しの影響がでないよう対応する 小学校63,846千円 中学校61,314千円	平成28年度 学用品費・修学旅行 費・給食費・医療費 等の援助	平成29年度 学用品費・修学旅行 費・給食費・医療費 等の援助	めざす	続ける	点検する	経済的な理由により就学が困難な児童生徒に対し、必要な経費を援助することは、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利、学力向上を図る上で必要である。	平成26年度実績	学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助 平成26年度からP T A会費・生徒会費・部活動費を援助開始 小学校751名 中学校418名(H 27.2未現在)
	市計画<221> 学校教育課	継続 事業費(千円)	見直し 125,160	継続 127,012	継続 122,356	評価指標 支援件数	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	保護者の経済的負担の軽減が図られるとともに、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利の保障が図られている。	継続 128,640	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点				平成26年度実績		
		事業内容		懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携		地域の 教育力	総合的な 教育施策
		平成26年度の評価		平成26年度の評価								

3-11-029 奨学金支給事業	事業内容 経済的な理由によって高等 学校等の就学困難な学生及 び生徒に対し、学資の一部 を支給することにより、等 しく教育を受ける機会を与 える。	平成27年度	平成28年度	平成29年度	めざす 高等学校等の就学に必要な学資 等の一部として奨学金を支給す ることによる保護者への経済的 負担の軽減。	続ける 点検する	経済的な理由により就学が困難な生徒に対し、学 資等の経費の一部を支給することは、家庭状況に関 わらず平等に教育を受ける権利、学習意欲の向上を 図る上で必要である。	平成26年度実績 選考委員会を開催 し、90名を選考 し、支給を行っ た。(119名出 願)
		見直し 5,400	継続 5,400	継続 5,400				
市計画<233> 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 5,400	継続 5,400	継続 5,400	評価指標 奨学金支給人数/申請者人数	継続 5,400	継続 5,400	

3-11-030 私立学校教育 振興事業	事業内容 教育環境の充実を図るた め、市内に本校を有する私 立高等学校が行う教育活動 を支援する。	平成27年度	平成28年度	平成29年度	めざす 市内に開校している、札幌日大 高校に対し補助金を交付する。 とは必要である。	改善する	私立教育の振興、私立高校に通学している保護者 の負担軽減のため、教材教具費等への支援を行うこ とは必要である。	平成26年度実績 日大高校に補助 金を助成し、私学 の振興と、保護者 の負担軽減に寄与 した。
		継続 1,350	継続 1,350	継続 1,350				
市計画<309> 教育総務課	継続 事業費(千円)	継続 1,350	継続 1,350	継続 1,350	評価指標 補助金の活用状況	継続 1,350	継続 1,350	

3-11-101 義務教育施設 整備基金利息 積立 (教育振興経 費)	事業内容 義務教育施設整備基金の利 息を積立	平成27年度	平成28年度	平成29年度	めざす 市の教育施策を継続し、着実に 進める。	続ける 点検する	小中学校の新増築及び用地取得を 図り、教育環境を整備・充実 するために積立を行った。	平成26年度実績 基金利息積立
		継続 157	継続 157	継続 157				
経常経費 教育総務課	継続 事業費(千円)	継続 157	継続 157	継続 157	評価指標 基金残高	継続 157	継続 53	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点			平成26年度実績
		事業内容			平成26年度の評価			平成26年度の評価			
		懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		

3-11-102 小学校管理経 費 (小学校管理 経費)	施設維持管理用 修繕料・光熱水費・燃料 費・手数料・委託料・借上 料ほか	平成27年度 施設の維持管理 経常分 110,160千円 臨時分 4,746千円 管繕 3,394千円	平成28年度 施設の維持管理	平成29年度 施設の維持管理	めざす 学校教育施設の管理、維持のた め経費の削減をしながら、効果 的に支出する。	続ける	点検する	学校に配分する経常的な経費については維持し、 光熱水費等ランニングコストについては、各学校に 節減喚起をし取り組んでもらう。	平成26年度実績 施設の維持管理経 費
	継続	継続	継続	継続	評価指標				継続
	事業費(千円)	118,300	110,160	110,160	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図 られた。	学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図 られた。	111,394

3-11-103 中学校管理経 費 (中学校管理 経費)	施設維持管理用 修繕料・光熱水費・燃料 費・手数料・委託料・借上 料ほか	平成27年度 施設の維持管理 経常分 86,694千円 臨時分 2,665千円 管繕 383千円	平成28年度 施設の維持管理	平成29年度 施設の維持管理	めざす 学校教育施設の管理、維持のた め経費の削減をしながら、効果 的に支出する。	続ける	点検する	学校に配分する経常的な経費については維持し、 光熱水費等ランニングコストについては、各学校に 節減喚起をし取り組んでもらう。	平成26年度実績 施設の維持管理経 費
	継続	継続	継続	継続	評価指標				継続
	事業費(千円)	89,742	86,694	86,694	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図 られた。	学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図 られた。	99,053

3-11-104 中学校教育振 興経費(学校 教育課分) (中学校教育 振興経費)	平成24年度から中学校の 音楽科で必修となる和楽器 指導に必要な楽器(等)を 借上げる。	平成27年度 和楽器(等)の借上 げ (150面)	平成28年度 和楽器(等)の借上 げ (150面)	平成29年度 和楽器(等)の借上 げ (150面)	備える 新たに指導内容として導入され る中学校和楽器の指導に必要と なる楽器(等)を整備する。	整える	改善する	新たに中学校の授業に導入される和楽器の指導を 行うための備整備は必要である。 教科担任の資質向上を図るだけでなく、専門的指 導者など地域の人材による協力が必要である。	平成26年度実績 和楽器(等)の借 り上げ148面を行 い、中学校授業で 効果的に使用し た。
	継続	継続	継続	継続	評価指標				継続
	事業費(千円)	551	551	551	551	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	中学校の音楽科で必修となる和楽器指導に必要な楽 器(等)を借上げし、円滑に指導が行なわれてい る。	571

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点				平成26年度実績		
		事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会員献 人材育成	産学官民 の連携		地域の 教育力	総合的な 教育施策

3-11-105 教育環境研究 事業 (教育振興経 費)	新しい教育システムによる魅力ある教育活動が行なわれる学校づくり、質の高い学びを支える環境づくりなど、社会の変化や実態に合わせた教育環境の整備に取り組んでいくため、調査研究や教育実践を行う。	継続 事業費(千円)	継続 0	継続 0	継続 0	備える	続ける	改善する	小中連携教育においては、義務教育9年間で小中が協働と連携を意識し、教育課程の連携や連続性のある指導体制を確立することが必要である。	小中連携教育9年間で小中が協働と連携を意識し、教育課程の連携や連続性のある指導体制を確立することが必要である。	継続	0	
経常経費 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 0	継続 0	継続 0	継続 0	評価指標 小中連携教育等の進捗状況 平成26年度の評価 A 中学校区ごとに連携会議を開催し、学力・体力等児童生徒の実態の共通理解を深めた。						継続	0

3-11-106 奨学生選考委 員会 (教育振興経 費)	奨学生を選考するため、奨学生選考委員会を開催する。選考委員7名	継続 事業費(千円)	継続 28	継続 28	継続 28	めざす	続ける	点検する	奨学生を選考するため、選考委員会に奨学生の選考について諮問し、答申をもらう。	選考にあたり、客観性、透明性を確保するため、教育行政に関して専門的な知識を有する者による審議は必要である。	継続	28	
経常経費 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 28	継続 28	継続 28	継続 28	評価指標 開催回数 平成26年度の評価 A 教育行政に関して専門的な知識を有する者による審議により、客観性、透明性が図られた選考が図られている。						継続	28

3-11-107 北広島市立小 学校及び中学 校通学区区域審 議会 (教育振興経 費)	通学区を設定及び変更するため、通学区区域審議会を開催する。審議会委員12名	継続 事業費(千円)	継続 48	継続 48	継続 48	めざす	続ける	点検する	通学区を設定及び変更するため、審議会に諮問し、答申をもらう。	通学区の設定及び変更にあたり、客観性、透明性を確保するため、専門的な知識を有する者や関係者による審議は必要である。	継続	0	
経常経費 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 48	継続 48	継続 48	継続 48	評価指標 開催回数 平成26年度の評価 A 通学区区域審議会への諮問案件がなかったため、審議会の開催できなかった。						継続	0



## 政策4 学びあい、教えあう社会教育の推進

### 施策12 市民の学習活動への支援内容の充実

#### 施策13 地域や世代を見据えた学習機会の充実

#### 施策14 施設の充実による学習環境の整備

### 【施策12 市民の学習活動への支援内容の充実】

- 1 市民の学習活動に対する意欲に応えるため身近な学習機会の充実に努め、学びを通じたコミュニティづくりに向け、市民が主体的に取り組む学習活動を支援します。
- 2 社会教育関係団体や市民の主体的な学習活動に対し、団体が自ら個性ある活動を継続するための人材育成や団体運営に対する支援の充実に努め、学んだ成果を生かす機会や相互に交流する場を提供します。
- 3 市内のそれぞれの地域が、個性豊かに地域の实情にあった学習活動を展開できるよう、市民と行政との協働による活動を推進します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	
4-12-001 生涯学習市民 活動団体支援 事業	学習機会の提供及び生涯学 習に取り組む団体の育成を 図るため、市民団体が企画 実施する生涯学習に関する 事業に支援を行う。	市民団体が企画する 講演会や体験事業、 スポーツ大会、鑑賞 会などへの助成	市民団体が企画する 講演会や体験事業、 スポーツ大会、鑑賞 会などへの助成	市民団体が企画する 講演会や体験事業、 スポーツ大会、鑑賞 会などへの助成	めざす 市民参加を促す事業として、継 続的に支援を行っていくため、 市民ニーズを捉え、事業内容の 改善を行っていく。	続ける 市民参加を促す事業として、継 続的に支援を行っていくため、 市民ニーズを捉え、事業内容の 改善を行っていく。	改善する 市民参加を促す事業として、継 続的に支援を行っていくため、 市民ニーズを捉え、事業内容の 改善を行っていく。	生涯学習に関する事業を自ら企画・実施し、広く 市民に発表する取組みを支援することは、生涯学習 の振興並びにまちづくりの市民参加につながる。	平成26年度実績 助成事業数3件			
市計画<258> 社会教育課	継続 事業費(千円)	継続 1,500	継続 1,500	継続 1,500	評価指標 支援団体数	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	市民の主体的な活動が効果的に 推進するため、支援内容を改善 した。	継続 646			



事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション		特に必要とする視点				平成26年度実績			
		事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成		産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策

4-12-002 元氣フェスティバル連携事業	市民の生涯学習に対する理解や関心を深めるとともに、市民団体の交流や学習成果を生かす場として、元氣フェスティバルを開催する。	元氣フェスティバルの開催	元氣フェスティバルの開催	元氣フェスティバルの開催	元氣フェスティバルの開催	創る	広げる	改善する	生涯学習活動を発表の場、異分野の交流の場として重要。市民が主体となって取り組む実行委員会形式で実施。	平成26年度実績	元氣フェスティバルの開催 (参加団体数等) 参加 62団体 参加者3,500名
市計画<259> 社会教育課	継続 事業費(千円)	継続 675	継続 675	継続 675	継続 675	評価指標 来場者数	平成26年度の評価 A	市民の主体的な活動を助長し、活動成果の発表機会となっている。	平成26年度の評価 A	継続	675

4-12-003 生涯学習振興会支援事業	生涯学習の振興や地域づくり・コミュニティ活動の要として、生涯学習振興会を支援する。	生涯学習振興会への助成	生涯学習振興会への助成	生涯学習振興会への助成	生涯学習振興会への助成	創る	広げる	改善する	地域の生涯学習の振興に中心となる組織。地域コミュニティの醸成にも貢献する組織で、学校支援、子育て支援など、様々な展開が可能。市民参加が活発に行われている組織	平成26年度実績	生涯学習振興会事務職員人件費と事業費の助成。生涯学習推進アドバイザーの配置
市計画<313> 社会教育課	継続 事業費(千円)	継続 18,136	継続 18,307	継続 18,307	継続 18,307	評価指標 事業数、事業参加者数	平成26年度の評価 B	多彩な事業が行われており、学習機会の提供に寄与している。未設置地域の状況を把握している。	平成26年度の評価 A	継続	17,932

### 【施策13 地域や世代を見据えた学習機会の充実】

- 1 各世代別の学習ニーズに応え、産・学・官・民の連携を図り、多様で豊かな学習機会や交流機会の提供を推進します。
- 2 社会の要請や個人の多様な学習ニーズに対応するため、実情に合った学習機会の提供を推進します。
- 3 市民の多様な学習ニーズに的確に対応することや、主体的な学習活動を支援するため、教育情報提供システム「学び舎・楓」の充実に努め、学習活動への効果的な支援を促進します。
- 4 市民の主体的な学習をサポートするため、IT予約システムなどにより、社会教育施設や公共施設のネットワーク化を図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画				特に必要とするとする視点				平成26年度実績
		期待されるアクション		平成26年度の評価		生涯学習 環境整備	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
		懐く	励む	挑む	改善する					

4-13-001 国際交流事業	異文化への理解と国際感覚をもった人材を育てるため、国際交流協議会を支援する。	平成27年度 国際交流協議会への 助成	平成28年度 国際交流協議会への 助成	平成29年度 国際交流協議会への 助成	めざす カナダ・サスカトゥーン市との交 流は継続。	続ける	改善する	豊かな国際感覚を持った人材の育成は、重要。 市民が主体となった事業展開が必要。	平成26年度実績 カナダ・サスカ トゥーン市訪問団受 入れ。市民交流事 業。国際交流パネ ル展の開催
市計画<323> 社会教育課	継続 事業費(千円)	見直し 1,404	継続 392	継続 1,254	評価指標 事業参加者数	事業参加者数	平成26年度の評価 A	市民交流事業や国際交流パネル展を開催した。協議 会のあり方や派遣事業の参加者負担金割合などの見 直しを行っている。	見直し 420

4-13-002 フレンドリーセ ンター運営事 業	障がい者が生涯学習活動を通じ、学び交流する場を提供する。	平成27年度 フレンドリーセ ンター事業の開催	平成28年度 フレンドリーセ ンター事業の開催	平成29年度 フレンドリーセ ンター事業の開催	めざす 障がい者と一緒 に学び交流する 本市独自の事業。 会員の高齢 化、施設の老朽 化などの課題の 検討が必要。	続ける	改善する	障がい者が地域社会に積極的に溶け込んでいくた めの環境づくり事業として重要。 市民、各種団体、学校教員等の参加・協力を得て 実施している。	平成26年度実績 大藪教室、レク 森工作教室、サッ カー教室、スキー 教室、体操教室の 開催
市計画<261> 社会教育課	継続 事業費(千円)	継続 757	継続 992	継続 992	評価指標 事業参加者数	事業参加者数	平成26年度の評価 A	「障がい児若を持つ親の会」などの意見を聴き、事 業を実施した。交流の場としての事業展開を継続す る。	継続 979

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画				期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績	
		平成26年度の評価				平成26年度の評価				生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力		総合的な 教育施策
		懐く	励む	挑む											

4-13-003 中央公民館活動推進事業	事業内容 市民やサークルなどの相互 交流の場を提供し、市民の 生涯学習に対する理解と関 心を深める。	平成27年度	平成28年度	平成29年度	めざす 市民の主体的な活動をさらに助 長するため、生涯学習振興会と の連携について検討を進める。	改善する 生涯にわたる学習環境の提供、世代間の交流の推 進。 市民参加による事業の企画・運営。	平成26年度実績
		見直し	継続	継続			見直し
		347	355	355			0
市計画<262> 社会教育課	継続 事業費(千円)	継続	継続	継続	評価指標 事業参加者数	平成26年度の評価	見直し
					平成26年度の評価	中央公民館の指定管理制度導入を見据え、事業のあ り方について、検討を行った。	

4-13-004 生涯学習支援システム 情報システム 整備事業	事業内容 図書館情報システム・施設 予約管理システム・生涯学 習情報提供システムからな る生涯学習支援情報システ ム「新学び舎・楓」を活用 し、図書館及び生涯学習の 拠点施設が持つ学習機能を 充実させる。	平成27年度	平成28年度	平成29年度	めざす 図書館システムや施設予約シス テム、各種ホームページなど、 機能は多岐に渡っているため、 所管課等の検討は必要。	点検する 学習情報の提供、施設利用の利便性向上。 庁内インフラを活用し、多くの部局の集会施設の 管理を一元化しているため、緊密な連絡調整が必要 である。郷土資料管理システムは、コア施設開設と 同時にクラウド型へ分離する。	平成26年度実績
		見直し	継続	継続			見直し
		11,642	11,390	11,390			
市計画<314> 文化課	継続 事業費(千円)	継続	継続	継続	評価指標 導入施設数	平成26年度の評価	継続
					平成26年度の評価	施設予約システムの所管課が課題。 十分に機能している。	
					平成26年度の評価	新システム移行に伴い市ホームページと情報が重複していた「学び舎 楓」を廃止	15,348

## 【施策14 施設の充実にによる学習環境の整備】

- 生涯学習活動の推進や社会教育の充実に向け、市民がより利用しやすい社会教育施設の運営を図ります。
- 市民の主体的な学習活動を支援するための学習環境を整備するとともに、既存施設の有効活用を図ります。
- 学習や研修の機会を提供する公民館施設の充実に、地域コミュニティの拠点として計画的な整備を進めます。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	備える	整える	点検する	社会貢献 人材育成	生涯学習 環境整備	社会貢献 産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
平成26年度の評価													

4-14-001 中央公民館大規模改修事業	事業内容 老朽化が著しいことから、大規模改修を行う。	平成27年度 《H26事業終了》	平成28年度	平成29年度	備える 利用者の意見を反映し、利用しやすい施設とするため、改善を進める。	整える	点検する	市民の生涯学習、交流の場としての中核的施設。高齢者や障がい者が利用しやすい施設への転換。						平成26年度実績 建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事、土俵改修工事。備品・消耗品の購入
市計画<315> 社会教育課	継続 事業費(千円)	終了			評価指標 進捗率 平成26年度の評価 A 利用者ニーズを反映し、改修工事を行った。			平成26年度の評価 A					継続 287,131	

4-14-002 西の里公民館改修事業 [新規]	事業内容 耐震診断基準を下回っていることから、耐震改修を行う。	平成27年度 公共施設等総合管理計画で検討	平成28年度	平成29年度	備える 利用者の意見を反映し、利用しやすい施設とするため、改善を進める。	整える	点検する	市民の生涯学習、交流の場としての中核的施設。高齢者や障がい者が利用しやすい施設への転換。						平成26年度実績
市計画<352> 社会教育課	新規 事業費(千円)	0	0	0	評価指標 進捗率 平成26年度の評価			平成26年度の評価						

4-14-003 フレンドリーセンター施設解体工事事業 [新規]	事業内容 老朽化している施設の解体工事を行う。	平成27年度 公共施設等総合管理計画で検討	平成28年度	平成29年度	備える 施設解体のための実施設計及び工事の実施。	整える	点検する	施設解体について、関係者との協議を行うなどの調整を行う。						平成26年度実績
市計画<356> 社会教育課	新規 事業費(千円)	0	0	0	評価指標 進捗率 平成26年度の評価			平成26年度の評価						





事業名 (担当課)	事業内容	年度計画				期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績
		年度計画				懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
		平成26年度の評価				平成26年度の評価				平成26年度の評価				

4-14-104 社会教育施設 等草刈経費  (社会教育経 費)	事業内容 快適に利用できる施設とな るよう社会教育施設等(駅 西口広場・中央公民館・西 の里公民館・レクの森)の 草刈りを行う。	平成27年度	平成28年度	平成29年度	めざす	続ける	点検する	草刈りの実施	
		草刈り(委託)	草刈り(委託)	草刈り(委託)	社会教育関係施設の環境整備に 努める。				施設の環境整備に努める。
		継続	継続	継続	評価指標	草刈実施回数	平成26年度の評価		平成26年度の評価
経常経費	継続	継続	継続	継続	A	A	A	継続	
社会教育課	事業費(千円)	500	500	500				346	



政策5 郷土愛を育む教育活動の推進

施策15 エコミュージアム構想の展開

施策16 文化財の保存と活用

【施策15 エコミュージアム構想の展開】

- 1 文化遺産の継承を図るため、郷土の歴史資料や伝統的遺産の保存・活用を進めるとともに、市民の文化財を大切に守る心を培い、市民が身近に郷土文化財などにふれることができるようエコミュージアム構想を推進します。
- 2 郷土に関する学習や、体験学習を通して、郷土の歴史や伝統的遺産を大切に守る心を培い、自らのまちを誇りに思う郷土愛を育む学習機会を提供します。
- 3 エコミュージアム構想を推進し、各地域の自然遺産・歴史遺産・産業遺産等を現地において保全・活用する環境を整備します。
- 4 重要な郷土資料の保全し、市民参加、情報サービスの発信・提供、資料の展示等、学校等と連携した郷土の教育普及活動を充実します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点			平成26年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	
平成26年度の評価									
5-15-001 エコミュージアム普及推進事業	市内各地に存在する自然遺産や文化遺産などを現地において、行政と市民の協働により、そのまま保存・育成・展示することを通じ、魅力ある地域づくり・まちづくりを推進する。また、郷土に関する学習や体験学習を通して、自らのまちを誇りに思う郷土愛を育む学習機会を提供する。	平成27年度 エコミュージアム推進委員会の運営 常設展示・特別展・企画展の実施 まちを好きになる市民大学の開講 市内見学バスツアーの実施 郷土学習・講演会の開催	平成28年度 常設展示・特別展・企画展の実施 まちを好きになる市民大学の開講 市内見学バスツアーの実施 郷土学習・講演会の開催	平成29年度 常設展示・特別展・企画展の実施 まちを好きになる市民大学の開講 市内見学バスツアーの実施 郷土学習・講演会の開催	めざす 事業推進体制の拡大・充実が必要。	広げる 市民自らが遺産を保存・活用し、まちを守り育ていく観点が根本。 北広島市エコミュージアム推進委員会など、多くの市民との協働と、観光等関係機関との連携が必要。	改善する 市民自らが遺産を保存・活用し、まちを守り育ていく観点が根本。 北広島市エコミュージアム推進委員会など、多くの市民との協働と、観光等関係機関との連携が必要。	平成26年度の評価	平成26年度実績 まちを好きになる市民大学 6期生：10人 卒業生：93人 OB会：55人 (H26総会時) バスツアー(3回) 参加者：59人 昆虫採集：9人 <b>総合</b> 445
市計画<266> エコミュージアムセンター	継続 事業費(千円)	継続 5,708	継続 5,708	継続 5,708	評価指標 事業参加者数	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	見直し	
5-15-002 旧島松駅通所周辺整備事業	より多くの市民に観覧してもらい、駅通所を身近に感じ知ってもらうことにより、開拓の歴史の理解を深めてもらうため、旧島松駅通所の周辺の隣地の整備を行う	平成27年度 検討	平成28年度	平成29年度	創る 隣地の史跡拡大を目指し、エコミュージアムのサテライト施設として活用する。	広げる 駅通所は、歴史を正しく伝えるうえで国民の財産と成り得る史跡であり、国や地域の理解や協力を得て進める必要がある。	改善する 隣地の史跡拡大を目指し、エコミュージアムのサテライト施設として活用する。	平成26年度の評価 B	平成26年度実績 総合行政的な旧地により企画財政部を中心に進めることとした <b>見直し</b> 0
市計画<267> エコミュージアムセンター	継続 事業費(千円)	継続 0	継続	継続	評価指標 進捗率	平成26年度の評価 B	平成26年度の評価 B	見直し	

【施策16 文化財の保存と活用】

- 1 史跡や歴史資料を適切に保存するとともに、その活用により歴史と文化に対する市民の理解を深め、貴重な文化財の保護を進めます。
- 2 郷土の歴史、自然等の調査研究や資料の収集保存を進めます。また、市文化財の指定を行い、保存します。
- 3 郷土文化、伝承事業に対する支援を進めます。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション		特に必要とする視点			平成26年度実績
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	
5-16-001 文化財保存・ 活用事業	本市の文化財や郷土資料を周知し、郷土に対する愛着とふるさと意識の高揚を図るため、国指定文化財と北広島市文化財保護審議会が指定する市指定文化財、郷土の自然や歴史を後世に伝えるために適切な保存と活用を行う。	旧島松駅通所開館事業の実施 旧島松駅通所庭内整備の実施 東記念館収蔵室の維持管理 北広島市水稲赤毛種保存会に対する助成文化財等調査補助員の配置	旧島松駅通所開館事業の実施 旧島松駅通所庭内整備の実施 東記念館収蔵室の維持管理 北広島市水稲赤毛種保存会に対する助成文化財等調査補助員の配置	旧島松駅通所開館事業の実施 旧島松駅通所庭内整備の実施 東記念館収蔵室の維持管理 北広島市水稲赤毛種保存会に対する助成文化財等調査補助員の配置	めざす 遺産を後世に伝えていくためには、適切な保存・管理が必要だが、継続的な手当てと、計画的なメンテナンスが必要である。	続ける 旧島松駅通所入館者数	改善する 生涯学習における学習環境整備として重要な課題である。まらの遺産は、その地域の協力がなされるには保存されないものが必要。	平成26年度 旧島松駅通所開館 161日間（4/28 ～11/3） 入館者数：2,698 人 （総 数）：6,996 人 北広島市水稲赤毛 種保存会への助成	平成26年度 実績	継続 4,433
市計画<268> エココミュニケーションセンター	継続 事業費(千円)	継続 5,920	継続 5,972	継続 5,972	評価指標 市民の郷土意識の高まりにより旧島松駅通所の来館者が増加している中、最小限の修繕及び環境整備を実施できた。	平成26年度の 評価 A	平成26年度の 評価 B	継続 4,433		
5-16-002 郷土文化伝承 支援事業	本市の郷土芸能を後世に伝えるため、保存・継承している団体を支援する。	広島音頭保存会に助成、北広島ふるさと太鼓保存会に対する助成	広島音頭保存会に助成、北広島ふるさと太鼓保存会に対する助成	広島音頭保存会に助成、北広島ふるさと太鼓保存会に対する助成	めざす 伝統芸能と呼ぶには歴史が浅いが、北広島市の郷土芸能振興を目的に継続する。	点検する 郷土芸能は地域に根ざしたものであり、多くの市民による保存伝承活動が必要である。郷土芸能の振興は、祭りや式典などでの演目等まちづくりにへの貢献の一環としても大切な事業である。	平成26年度 実績	北広島ふるさと太鼓保存会 会員：21人 広島音頭保存会 会員：65人	継続 212	
市計画<333> エココミュニケーションセンター	継続 事業費(千円)	継続 212	継続 212	継続 212	評価指標 支援団体数	平成26年度の 評価 A	平成26年度の 評価 B	継続 212		

政策6 生涯にわたる読書活動の推進

施策17 図書館サービスの充実

施策18 子どもの読書活動推進

【施策17 図書館サービスの充実】

- 1 市民が求める資料と情報の提供を図るため、図書や雑誌などの資料の充実に努めるとともに、市民が利用しやすい環境づくりを進めます。
- 2 地域・学校の読書ネットワークを整備し、読書を楽しみ、学びあう市民意識を醸成します。
- 3 図書館ワールドネットなどの市民との協働により、乳幼児から高齢者までの生涯を通じた読書活動の充実をめざします。
- 4 図書館や北広島団地住民センター、西の里公民館の図書室などの整備・拡充を図ります

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績
			懐く	励む	挑む	評価	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	
6-17-001 図書館サービスの提供事業	図書館が行っている図書の貸出・リクエスト・予約やレファレンス・相互貸借などの基本的サービスのほか、利用価値の高い図書サービスを提供する。	平成27年度 図書館資料の購入情報検索データベースの活用 高齢者等の宅配サービスの実施 公衆無線LAN「光ステーション」の導入活用	平成28年度 図書館資料の購入情報検索データベースの活用 高齢者等の宅配サービスの実施 公衆無線LAN「光ステーション」の活用	平成29年度 図書館資料の購入情報検索データベースの活用 高齢者等の宅配サービスの実施 公衆無線LAN「光ステーション」の活用	めざす 現状のサービス水準を維持し、市民要望に対する点検を怠らないこと。	続ける 点検する	評価指標 予約貸出率(達成件数/年間リクエスト総数)	平成26年度の評価 A	資料費・開館時間など近隣市と比較しても上位。利用率も道内トップクラスを維持している。	生涯にわたる学習環境の充実にとつて、図書館は重要な位置を占める。窓口業務委託の継続	平成26年度実績 平成27年1月末現在 貸出冊数 413,565冊 予約・リクエスト 受付数 約45,728件 予約達成率約95%
市計画<269> 文化課	継続 事業費(千円)	継続 22,050	継続 22,050	継続 22,050			平成26年度の評価 A	継続	無線LAN「光ステーション」の導入を実施。	継続	21,073

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績	
			創る	続ける	改善する	評価	市民参加による読書振興・図書館運営という点で稀有な活動。 <th>読書まつり等の普及イベントを実施。 <th>他の自治体に例をみない市民協働による読書活動推進モデルである。市民要望の反映やメンバーや世代の交代など、活動のさらなる活性化に向けた育成が必要。 <th>参加者数</th> <th>平成26年度の評価 B </th></th></th>	読書まつり等の普及イベントを実施。 <th>他の自治体に例をみない市民協働による読書活動推進モデルである。市民要望の反映やメンバーや世代の交代など、活動のさらなる活性化に向けた育成が必要。 <th>参加者数</th> <th>平成26年度の評価 B </th></th>	他の自治体に例をみない市民協働による読書活動推進モデルである。市民要望の反映やメンバーや世代の交代など、活動のさらなる活性化に向けた育成が必要。 <th>参加者数</th> <th>平成26年度の評価 B </th>	参加者数		平成26年度の評価 B
6-17-002 図書館ワールドネット連携事業	図書館のボランティア団体で構成する図書館ワールドネット運営委員会を支援し、読書の普及を促進する。	平成27年度 図書館ワールドネット運営委員会に対する助成	平成28年度 図書館ワールドネット運営委員会に対する助成	平成29年度 図書館ワールドネット運営委員会に対する助成	創る 市民参加による読書振興・図書館運営という点で稀有な活動。	続ける	改善する	平成26年度の評価 A	視覚障がい者への朗読・点訳活動、破損した図書の修理などのサービスの充実に大きく貢献している。	読書まつり等の普及イベントを実施。	他の自治体に例をみない市民協働による読書活動推進モデルである。市民要望の反映やメンバーや世代の交代など、活動のさらなる活性化に向けた育成が必要。	平成26年度実績 図書館ワールドネット運営委員会に助成 読書普及イベントで年間約11,000人の参加者
市計画<270> 文化課	継続 事業費(千円)	継続 1,500	継続 1,500	継続 1,500			平成26年度の評価 A	継続			継続	1,500



事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション		特に必要とする視点			平成26年度実績			
		事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く	励む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成		産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策
6-17-101 図書館運営 (図書館運営 経費)	図書館の施設維持管理 移動図書館車の運行	窓口等業務委託 移動図書館車・小型 貨物自動車の経費 ほか	窓口等業務委託 移動図書館車・小型 貨物自動車の経費 ほか	窓口等業務委託 移動図書館車・小型 貨物自動車の経費 ほか	市民要望を最大限反映する施設 運営のために、新たな技術や手 法の導入に対し、点検を怠らな い。	継続	継続	継続	生涯学習の拠点施設として育てる。 本館・分館ともに市民参加を十分に得て運営を行 う。	継続	58,459	平成26年度実績 平成27年1月末現 在 年間開館日数 250日 本館入館者数 198,861人	
経常経費	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	生涯学習の拠点施設として、市 民の意見を反映しつつ、利用し やすい運営が維持されている。	継続	58,459		
文化課	事業費(千円)	58,417	61,066	61,066					評価指標 利用者数				
6-17-102 図書館利用モ ニター (図書館運営 経費)	図書館サービスの水準を維 持し、迅速な利用者要望を 把握するため、匿名モニ ターによる対応チェックを 定期的に行う。	窓口等業務委託 移動図書館車・小型 貨物自動車の経費 ほか	窓口等業務委託 移動図書館車・小型 貨物自動車の経費 ほか	窓口等業務委託 移動図書館車・小型 貨物自動車の経費 ほか	委託事業者との相互のチェッ ク機能として継続していく。	継続	継続	継続	図書館運営に対する市民参加として重要な手法で ある。 協働によるまちの図書館づくりの一手法である。	継続	27	平成26年度実績 2名のモニターによ り12回実施	
経常経費	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	評価指標 モニター回数				
文化課	事業費(千円)	27	27	27					平成26年度の視点 A				
6-17-103 北広島市図書 館協議会 (図書館運営 経費)	図書館法に定められる外部 委員会として、図書館の運 営等について館長に意見を 述べたほか、教育委員会の 諮問に答える。委員10 名	平成27年度 年間2回を予定	平成28年度 年間2回を予定	平成29年度 年間2回を予定	図書館運営に対する市民意見の 反映に必需。運用の点検を怠ら ない。	継続	継続	継続	市民によるサービスマスへのチェッ クが定期的に行われ ることで、業務への改善へとつながっている。	継続	27	平成26年度実績 1回実施	
経常経費	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	評価指標 開催回数				
文化課	事業費(千円)	128	128	128					平成26年度の視点 A				
	事業費(千円)	128	128	128	10月に委員の改選を行った。 今年度は会議を1回実施。				協議会委員が図書館事業や研修会に参加するなど、 積極的な活動を行っている。	継続	128		

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画				期待されるアクション			特に必要とする視点			平成26年度実績		
		平成26年度の評価				懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携		地域の 教育力	総合的な 教育施策
		平成26年度の評価												
6-17-104 読書環境整備 事業  (図書館運営 経費)	図書館運営にかかわる備品の購入、団地住民センター・西の里公民館の地区分室の拠点化に向けた検討	平成27年度 利用者カードの購入 図書館用封筒の印刷 継続 556	平成28年度 図書館運営にかかわる備品の購入、団地住民センター・西の里公民館の地区分室の拠点化に向けた検討 継続 300	平成29年度 図書館運営にかかわる備品の購入、団地住民センター・西の里公民館の地区分室の拠点化に向けた検討 継続 300	めざす 使用限界を超えた印刷機器等の更新など、点検を怠らないよう注意。	続ける 点検する	更新件数	新たなコミュニティ施設の新設などの機会があれば、団地住民センター・西の里分館などの拡充を図る。	継続	継続	378	平成26年度実績 移動図書館車の冬タイヤの買い替え、エプロンの購入を実施		
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標	更新件数	平成26年度の評価	継続	継続	378	継続	378		
文化課	事業費(千円)	556	300	300	平成26年度の評価	A	平成26年度の評価	B	継続	継続	378	継続	378	

### 【施策18 子どもの読書活動推進】

- 1 市民との協働を踏まえながら、新たな「北広島市子どもの読書活動推進計画」を策定し(H23策定済)、学校図書館を中心とした読書環境整備を進めます。
- 2 学校図書館においては蔵書の充実に努めるとともに、幼稚園・保育園とのネットワーク化を推進します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画				期待されるアクション			特に必要とする視点			平成26年度実績		
		平成26年度の評価				創る	広げる	改善する	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携		地域の 教育力	総合的な 教育施策
		平成26年度の評価												
6-18-101 幼児読書活動 推進事業  (図書館運営 経費)	子どもの読書推進計画に基づき、就学前の幼児に身近で図書館に親しむ取組みとして、幼児絵本の巡回配置「小豆」を実施する。	平成27年度 幼児絵本180冊の寄贈本で対応。 実施園数を拡大。	平成28年度 幼児絵本180冊の補充 実施園数を拡大。	平成29年度 幼児絵本180冊の補充 実施園数を拡大。	創る 小学校で行われている通称「豆次郎」の幼年版(「小豆」として計画。幼児の読書活動推進にとって、独自性の高い活動。	広げる	改善する	学校教育から幼児、乳幼児まで読書活動の推進を図ることは、生涯にわたる読書活動の推進にとって重要。 幼稚園・保育園との連携による。	継続	継続	0	平成26年度実績 4園で実施 幼稚園2園 保育園2園		
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標	実施園率	平成26年度の評価	B	継続	継続	0	継続	0	
文化課	事業費(千円)	0	20	20	平成26年度の評価	A	平成26年度の評価	B	継続	継続	0	継続	0	



政策7 芸術文化活動の振興

施策19 個性豊かな地域文化の振興

施策20 市民等との連携による芸術文化活動の展開

【施策19 個性豊かな地域文化の振興】

- 1 芸術文化創造プランを策定し(H23策定済)、芸術文化の創造を担う人材の育成と活動の場の創出を進めます。
- 2 優れた芸術文化活動に対する顕彰を行うとともに、市民が主体的に取り組み芸術文化活動を積極的に支援します。
- 3 ワークショップやセミナーなど、市民が芸術文化を気軽に体験できる機会を提供します。
- 4 芸術文化活動に主体的に取り組んでいる市民団体やサークルを支援します。
- 5 芸術文化ホールの計画的な改修と整備を進め、利便性の向上を図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション				特に必要とするとする視点				平成26年度実績		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力		総合的な 教育施策	
7-19-001 文化賞等表彰 事業	優秀な文化活動の顕彰を通し、市民の芸術文化活動に対する意欲の向上を高めるとともに、心豊かな生活の一助になるため、11月3日の文化の日に、優秀な文化活動を行う市民(成人・青少年)や団体の顕彰を行う。	平成27年度 文化賞等表彰式の開催 (予算執行はスポーツ賞)	平成28年度 文化賞等表彰式の開催 (予算執行はスポーツ賞)	平成29年度 文化賞等表彰式の開催 (予算執行はスポーツ賞)	めざす 芸術文化分野での顕彰事業として、市民の芸術文化活動に対する意欲を高めることから堅実性・継続性が重要となる。	続ける	点検する	芸術文化活動を通じた地域づくりや人材育成の視 点に優れた文化活動を顕彰する。 生涯にわたり学び、その成果を活かした活動を支 援することにつながる。	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	平成26年度実績
市計画<272> 文化課	継続 事業費(千円)	継続 0	継続 0	継続 0	評価指標 文化賞等表彰者数	平成26年度の 評価 A	平成26年度の 評価 A	「文化の日」に表彰式を実施し た。芸術文化に関する活動を概 ね網羅した顕彰ができてい る。	継続	継続	継続	継続	継続	0

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション				特に必要とするとする視点				平成26年度実績		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力		総合的な 教育施策	
7-19-002 市民文化祭奨 励事業	市内の芸術文化や市民の芸術文化活動の促進のため、市民の芸術文化活動を発表する機会を提供とその支援を行う。	平成27年度 市民総合文化祭及び 地区文化祭に助成	平成28年度 市民総合文化祭及び 地区文化祭に助成	平成29年度 市民総合文化祭及び 地区文化祭に助成	めざす 市民の主体的な取り組みを支援する。助成内容の点検を怠らない。	続ける	点検する	学んだ成果の発表・活かす場として市民の主体的 な取り組みを支援する施策である。 芸術文化を通じた地域づくりや人づくりにつな がる。 芸術文化の振興を市民と協働し行う。	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	平成26年度実績
市計画<274> 文化課	継続 事業費(千円)	継続 650	継続 650	継続 650	評価指標 市民総合文化祭参加人数	平成26年度の 評価 A	平成26年度の 評価 A	市民総合文化祭 開催 文化賞2件、文化奨 励賞1件、文化貢献 賞3件、青少年文化 賞2件、青少年文化 奨励賞1件	継続	継続	継続	継続	継続	650

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画				期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績
		平成26年度の計画				平成26年度の計画				平成26年度の計画				
		懐く	励む	挑む	評価	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策				
7-19-003 文化団体活動 支援事業	市内の芸術文化や市民の芸術文化活動の発展のため、芸術文化活動を行う各種団体に各団体の芸術文化事業への支援を行う。	平成27年度 北広島市文化連盟、 北広島音楽協会に対 する助成	平成28年度 北広島市文化連盟、 北広島音楽協会に対 する助成	平成29年度 北広島市文化連盟、 北広島音楽協会に対 する助成	めざす 芸術文化活動がより活発化する よう主体的な団体活動を支援す る。	続ける	点検する	生涯学習の観点から、市民の主体的な芸術文化活動団体の支援は重要な施策である。団体支援を通し芸術文化活動による地域づくりや人材の育成につなげる。各種団体との協働により芸術文化の振興を目指す。	平成26年度実績 北広島市文化連盟 及び音楽協会に助 成					
市計画<273> 文化課	継続 事業費(千円)	継続 640	継続 640	継続 640	評価指標 支援団体数	平成26年度の計画 A	平成26年度の計画 A	団体個々の成果発表の場として、主体的な発表機会を設けられており、芸術文化活動の振興に寄与している。	継続 640					
7-19-004 文化施設修繕 事業	文化施設の安全性や利便性などの機能維持を図るため、耐用年数などを考慮しながら、保守点検等不具合が確認された設備や箇所について計画的な修繕を行う。	平成27年度 吊物・活動室屋上改 修	平成28年度 文化施設共用部屋上 防水改修、非常灯誘 導灯改修	平成29年度 文化施設共用部屋上 防水改修、非常灯誘 導灯改修	備える 建物本体及び設備の将来の大規模改修を視野に入れ、長期的な改修プランに基づく計画的な修繕事業を実施する。	続ける	点検する	設備等の延命化を図るための効果的な部品交換や修繕の実施。省工ネの取り組みの推進。	平成26年度実績 文化施設監視カメラ更新、 屋上防水シート等 改修工事					
市計画<278> 文化課	継続 事業費(千円)	継続 21,330	継続 28,597	継続 26,927	評価指標 進捗率	平成26年度の計画 B	平成26年度の計画 B	施設全体の長期的な改修プランを検討し、計画的に実施していくことが必要である。	継続 20,289					
7-19-005 芸術文化ホール(客席、舞台、音響、照明設備等)の安全性や芸術文化振興のため、機能維持を図るため、保守点検等で不具合が確認された設備や箇所について計画的な修繕を行う。	平成27年度 舞台吊物ワイヤー修 繕	平成28年度 舞台吊物等、音響設 備等修繕	平成29年度 舞台吊物等、音響設 備等修繕	備える 建物本体及び設備の将来の大規模改修を視野に入れ、長期的な改修プランに基づく計画的な修繕事業を実施する。	続ける	点検する	設備等の延命化を図るための効果的な部品交換や修繕の実施。省工ネの取り組みの推進。	平成26年度実績 舞台照明設備修繕						
市計画<341> 文化課	継続 事業費(千円)	継続 9,380	継続 13,000	継続 12,540	評価指標 進捗率	平成26年度の計画 B	平成26年度の計画 B	ホール設備に関して、長期的な改修プランを検討し、計画的に実施していくことが必要である。	継続 5,500					



事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点			平成26年度実績			
		事業内容		懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成		産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策
		平成26年度の評価		平成26年度の評価			平成26年度の評価					

7-19-101 文化施設維持 管理 (文化施設維 持管理経費)	事業内容 芸術文化ホール・図書館の 施設維持管理	平成27年度 設備管理業務委託 清掃委託 警備委託 設備保守点検委託 監視カメラ借上げ 光熱水費ほか 経常 59,497千円 臨時 1,000千円	平成28年度 設備管理業務委託 清掃委託 警備委託 設備保守点検委託 監視カメラ借上げ 光熱水費ほか	平成29年度 設備管理業務委託 清掃委託 警備委託 設備保守点検委託 監視カメラ借上げ 光熱水費ほか	めざす 点検を怠らず、計画的な管理運 営を行う。	続ける	点検する	大規模な専門的施設であり、受託者等との連絡調整 や点検を怠らず、効率的な管理運営を行う必要がある。 設備保守点検委託 光熱水費ほか	平成26年度実績 設備管理業務委託 清掃業務委託 設備保守点検委託 光熱水費ほか
	経常経費 文化課	継続 事業費(千円)	継続 60,497	継続 60,497	継続 60,497	評価指標 -	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A 受託者の適切な業務の執行により施設管理が行われ ている。	継続 57,502

7-19-102 芸術文化ホ ール管理経 費)	事業内容 芸術文化ホールの設備維持 管理	平成27年度 舞台設備運営管理委 託 窓口業務委託 借上車経費ほか 経常 35,728千円 臨時 0千円	平成28年度 舞台設備運営管理委 託 窓口業務委託 借上車経費ほか	平成29年度 舞台設備運営管理委 託 窓口業務委託 借上車経費ほか	めざす 点検を怠らず、計画的な管理運 営を行う。	続ける	点検する	専門的な施設・設備であり、受託者等との連絡調整 を怠らず、効率的な管理運営を行う必要がある。 委託 窓口業務委託 借上車経費	平成26年度実績 舞台設備運営管理 委託 窓口業務委託 借上車経費
	経常経費 文化課	継続 事業費(千円)	継続 35,728	継続 35,728	継続 35,728	評価指標 -	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A 受託者の適切な業務の執行により施設管理が行われ ている。	継続 36,089

7-19-103 北広島市芸術 文化振興審議 会 (芸術文化振 興経費)	事業内容 芸術文化の振興について教 育委員会からの諮問に応じ 調査審議する。委員10名	平成27年度 北広島市芸術文化振 興審議会の開催 委員構成を変更	平成28年度 北広島市芸術文化振 興審議会の開催	平成29年度 北広島市芸術文化振 興審議会の開催	めざす 芸術文化の振興に対する市民意 見の反映に必要。発言等の点検 を怠らない。	続ける	点検する	芸術文化の振興に対する市民参画の重要な手法であ る。 芸術文化振興プランの進捗管理について、協議を進 めていくことが必要である。	平成26年度実績 年間2回開催
	経常経費 文化課	継続 事業費(千円)	継続 124	継続 124	継続 124	評価指標 開催回数	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A 芸術文化振興プランの進捗管理について、協議を進 めていくことが必要である。	継続 64

【施策20 市民等との連携による芸術文化活動の展開】

- 1 地域の文化活動を支援する財団法人等や地域貢献活動(メセナ)を行う企業との共催、他の公共ホールなどの連携を推進します。
- 2 芸術文化ホールなどの活用により、市民が芸術文化に親しめる環境づくりを進めます。
- 3 市民との協働により、ボランティア組織の拡充を図りながら、芸術文化ホールの運営を進めます。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション			特に必要とする視点			平成26年度実績		
		事業内容		懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携		地域の 教育力	総合的な 教育施策
		事業内容		平成26年度の評価			平成26年度の評価					
7-20-001 芸術文化ホール運営委員会連携事業	市と協働で芸術鑑賞型事業及び芸術創造事業を推進し、市民の主体的な芸術文化活動の活発化と資質向上を図るため、芸術文化ホール運営委員会を支援する。	平成27年度 北広島市芸術文化ホール運営委員会に助成委員会の自主事業の実施	平成28年度 北広島市芸術文化ホール運営委員会に助成委員会の自主事業の実施	平成29年度 北広島市芸術文化ホール運営委員会に助成委員会の自主事業の実施	めざす 市民との協働による柔軟なホール運営として高い評価を得ているが、今後も社会情勢の変化に応じた運営体制の点検が必要。	拓げる 改善する					平成26年度実績 芸術文化鑑賞事業 16事業 芸術文化創造事業 5事業	
市計画<279> 文化課	継続 事業費(千円)	継続 11,835	継続 11,882	継続 11,882	評価指標 継続事業参加人数 育成事業参加人数 平成26年度の評価 A 文化公演や各種セミナーを企画・実施。関係団体などとの連携もできている。安定した運営が可能となる事務局体制の構築が課題である。						継続 11,835	
7-20-002 花ホールスタッフの会支援等事業	市及び運営委員会等が主催する事業のサポート活動やバーコーナーの運営など、芸術文化ホール(花ホール)を拠点に活動する花ホールスタッフの会を支援する。	平成27年度 花ホールスタッフの会に対する助成花ホールボランティア講習会の実施	平成28年度 花ホールスタッフの会に対する助成花ホールボランティア講習会の実施	平成29年度 花ホールスタッフの会に対する助成花ホールボランティア講習会の実施	めざす 主催事業や貸館事業のサポートとして芸術文化の振興に大きく寄与している。	続ける 点検する					平成26年度実績 花ホールスタッフの会へ交付金を交付 ボランティア養成講座の実施(24名参加)	
市計画<280> 文化課	継続 事業費(千円)	継続 320	継続 320	継続 320	評価指標 サポート件数 講習会参加人数 平成26年度の評価 A ホールの運営において、欠かすことのできない団体となっている。						継続 310	

政策8 健康づくりとスポーツ活動の推進

施策21 健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進

施策22 競技スポーツの振興

施策23 スポーツ施設の整備と運営

【施策21 健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進】

- 1 市民だれもが健康で生きがいのある生活がおくれるよう、市民との協働による各種スポーツ教室やスポーツ活動の推進、健康・体力づくり機会の拡充を図ります。
- 2 市民の自主的な参加と健康・体力づくり機会の拡充するため、各種スポーツイベントの開催をはじめとするスポーツ事業の推進を図ります。
- 3 スポーツ推進委員や地区生涯学習振興会と連携し、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	創る	広げる	点検する	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
8-21-001 きたひろしま30kmロードレース連携事業	健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進を図るため、きたひろしま30kmロードレースを開催する実行委員会へ補助金を交付する。	きたひろしま30kmロードレースの開催	きたひろしま30kmロードレースの開催	きたひろしま30kmロードレースの開催	市の一大スポーツイベントとして、多くの関係団体との連携による事業運営。	点検する	本市の魅力を全道、全国にPRする事業として、また市民の健康づくり、生きがいづくりの機会を提供する事業として、関係各団体と連携した事業運営が必要。	産学官民の連携	地域の教育力	総合的な教育施策	平成26年度実績		
市計画<286> 社会教育課	継続 事業費(千円)	見直し 300	継続 0	継続 0	評価指標 参加者数 平成26年度の評価 A 団関係者による実行委員会での協議を進め、大会を開催した。事業運営などの見直しを行った。	改善する	市外からの参加者も多く、市のPRにも大きく貢献する事業であり、関係団体と行政が連携して大会を開催した。部門を増やしたことにより、参加者の大幅な増加が見られた。				見直し 300		
8-21-002 市民スポーツ活動推進事業	市民だれもが、生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができよう、生涯スポーツ活動をはじめ、児童生徒・障がいのある人のスポーツ・レクリエーション活動の支援を推進する。	各種スポーツ大会等の開催及び支援	各種スポーツ大会等の開催及び支援	各種スポーツ大会等の開催及び支援	改善する 市民ニーズを把握し、事業及び事業内容の改善に努める。	改善する	各世代、障がい者のニーズに対応したスポーツ・レクリエーション事業を実施し、健康づくり、生きがいづくりを助長する。 地区生涯学習振興会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員等との協働を進める。				平成26年度実績		
市計画<288> 社会教育課	継続 事業費(千円)	継続 497	継続 400	継続 257	評価指標 参加者数 平成26年度の評価 A 参加者にとって充実したイベントとなるよう、運営方法などを見直し、事業運営を行った。	改善する	事業実施に当たっては、スポーツ推進委員や関係団体との連携を図り、事業を実施した。例年どおりの参加があり、市民の健康づくりに寄与することができた。				継続 393		

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画				期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績						
		年度計画				懐く		挑む		生涯学習 環境整備		社会貢献 人材育成			産学官民 の連携		地域の 教育力		総合的な 教育施策	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する	評価指標	スポート推進委員の参加事業数	平成26年度の評価	平成26年度の評価	平成26年度の評価		平成26年度の評価	平成26年度実績				
8-21-101 スポーツ推進 委員  (保健体育事 務経費)	スポーツの普及振興を行う ため、実技指導や各種大会 の企画及び事業運営を行 う。	平成27年度 推進委員報酬、研修 会への参加	平成28年度 推進委員報酬、研修 会への参加	平成29年度 推進委員報酬、研修 会への参加	市内各地域のスポーツ・レクリ エーションの振興の一端を担っ ている。	めざす	続ける	点検する	評価指標	スポート推進委員の参加事業数	平成26年度の評価	平成26年度の評価	平成26年度の評価	平成26年度実績						
経常経費 社会教育課	継続 事業費(千円)	継続 594	継続 594	継続 594	市内各地域のスポーツ・レクリ エーションの振興の一端を担っ ている。	30キロ歩ける会など、委員が 主体となって事業運営を行って いる。	A	A	委員が主体となって各事業に取り組んでおり、事業 内容の改善や新たな事業展開に向けた研修に積極的 に参加するなど、前向きな活動となっている。	継続	561	継続	561	事業の企画及び運 営。全道・管内協 議会への参加						

**【施策22 競技スポーツの振興】**

- 1 ジュニアスポーツ活動の振興を図るため、北広島少年スポーツアカデミーにおける選手の強化育成や底辺拡大、指導者の養成に取り組むとともに、中学校部活動への支援などを行います。
- 2 国際大会や全国大会等への出場を支援するほか、スポーツ大会において優秀な成績をおさめた市民を表彰し、市民の自発的なスポーツ活動の振興と奨励を図ります。
- 3 市体育協会やスポーツ少年団本部に対して支援を行う団体の組織強化と育成を図ることで、競技者のスポーツ活動の振興を図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点				平成26年度実績	
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力		総合的な 教育施策
			平成26年度の評価				平成26年度の評価				
8-22-001 スポーツアカデミー事業	全国、国際レベルの選手育成及び青少年の健全育成を図るため、ジュニアスポーツ選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業、指導者養成事業を実施する。	平成27年度 ジュニアスポーツの選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業の実施 継続 1,098	平成28年度 ジュニアスポーツの選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業の実施 継続 1,109	平成29年度 ジュニアスポーツの選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業の実施 継続 1,109	めざす 子どもの体力の強化、社会性を育む人づくり事業として、参加状況やニーズの変化に留意しながら、事業内容の改善を進める。	続ける	改善する	生涯に渡ってスポーツに親しむ市民を増やすため、子どもときから、スポーツに親しむ機会を拡充することが必要。 体育協会、スポーツ少年団本部、地区生涯学習振興会、総合型地域スポーツクラブ等との連携。	平成26年度実績 ジュニアスポーツリーダー養成、キッズスポーツ塾、種目別（バレーボール、野球、空手）講習会の実施 継続 1,104		
市計画<290> 社会教育課	継続 事業費(千円)	継続 1,109	継続 1,109	継続 1,109	評価指標 参加者数 平成26年度の評価 B 事業内容の見直しなど、検討を行っている。	平成26年度の評価 A 子どもたちの実情に合わせた内容とするため、学校や関係団体の意向を踏まえ、事業を実施した。	継続 1,104	継続 1,104			
8-22-002 全国中学生空手道選抜大会連携事業	本市を全国にPRするとともに、空手道を通じた青少年の健全育成を図るため、全国中学生空手道選抜大会を開催する。	平成27年度 第10回はまなす杯全国中学生空手道選抜大会の開催 継続 4,500	平成28年度 H27事業終了 終了	平成29年度	めざす 市内における空手道競技の普及、大会のスムーズな運営のための点検を怠らない。	続ける	点検する	本市を全国にPRする事業としての視点は重要。	平成26年度実績 第9回はまなす杯全国中学生空手道選抜大会の開催 継続 4,500		
市計画<291> 社会教育課	継続 事業費(千円)	継続 4,500	終了	継続 4,500	評価指標 大会出場者数 平成26年度の評価 A スムーズな大会運営に努めた。空手道教室を開催するなど、空手道競技の普及を図っている。	平成26年度の評価 A 大会を通じ、本市を全国にPRする取り組みを行った。	継続 4,500	継続 4,500			





事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点				平成26年度実績		
		年度計画			懐く		挑む	生涯学習 環境整備		社会貢献 人材育成	産学官民 の連携		地域の 教育力	総合的な 教育施策
		平成26年度の評価			励む		挑む	平成26年度の評価						

8-22-006 体育協会活動 支援事業	市民の積極的なスポーツ活動と振興を図るため、NPO法人北広島市体育協会の運営等を支援する。	平成27年度 北広島市体育協会への助成	平成28年度 北広島市体育協会への助成	平成29年度 北広島市体育協会への助成	めざす 本市のスポーツ振興を担う中核的組織であり、当協会活動の発展、活性化への支援を継続。	続ける	改善する	競技者の育成、市内のスポーツ競技の普及に取り組み団体を支援することにより、市民の健康づくり、生かしていくりを推進する。 体育協会への本市事業の一部移管の検討及び協働の推進。	平成26年度実績			北広島市体育協会に助成
市計画<284> 社会教育課	継続 事業費(千円)	継続 3,118	継続 3,118	継続 3,118	評価指標 加盟団体数、会員数 平成26年度の評価 A 体育協会が主催する各種スポーツ教室やイベントは、加盟団体との協働で実施されており、協会に対する支援の成果と言える。	継続	A	継続	継続 3,118			

8-22-007 スポーツ少年 団育成事業	青少年の健全育成やスポーツ少年団の組織強化と自主的な活動の推進のため、スポーツ少年団を支援する。	平成27年度 スポーツ少年団本部への助成	平成28年度 スポーツ少年団本部への助成	平成29年度 スポーツ少年団本部への助成	めざす 子どものスポーツ振興を担う中核的組織であり、当団体活性化のための支援を継続。	続ける	改善する	子どもの健康・体力づくり、健全育成を目的に活動している少年団の支援は重要。 地域における指導者の養成や確保が必要。スポーツアカデミー事業との連携推進。	平成26年度実績			スポーツ少年団本部に助成
市計画<285> 社会教育課	継続 事業費(千円)	継続 453	継続 453	継続 453	評価指標 加盟団体数、加盟者数、指導者数 平成26年度の評価 B 少子化が進む中で加盟者数が維持できているのは、組織基盤が脆弱であり、連携協働による育成が重要である。	継続	A	継続	継続 453			

【施策23 スポーツ施設の整備と運営】

- 1 市民が安心して利用しやすいスポーツ・レクリエーション環境を整えるため、スポーツ施設の計画的な整備と改修を進めます。
- 2 日常的なスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、学校開放事業をはじめとしたスポーツ環境の向上を図ります。
- 3 運動広場の整備を進め、市民が快適にスポーツ・レクリエーション活動を行える場づくりを図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点				平成26年度実績	
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力		総合的な 教育施策
			平成26年度の評価			平成26年度の評価					
8-23-001 西の里ファミリア体育館改修事業	事業内容 老朽化が著しいことから、屋根や外壁、暖房施設等の改修を行う。	平成27年度 改修工事	平成28年度 H27事業終了	平成29年度	備える 利用者の意見を反映し、利用しやすい施設とするため、改善を進める。	整える 改善する	改善する	スポーツを振興するうえで、スポーツ施設環境の充実が必要。	平成26年度実績		
市計画<294> 社会教育課	継続 事業費(千円) 214,380	終了			評価指標 進捗率 平成26年度の評価			平成26年度の評価	継続 0		
8-23-002 大曲ファミリア体育館改修事業	事業内容 老朽化が著しいことから、屋根や外壁、暖房施設等の改修を行う。	平成27年度	平成28年度 実施設計	平成29年度 工事監理委託 改修工事 H29事業終了	備える 利用者の意見を反映し、利用しやすい施設とするため、改善を進める。	整える 改善する	改善する	スポーツを振興するうえで、スポーツ施設環境の充実が必要。	平成26年度実績	改修調査委託、リニューアル検討委員会の開催	
市計画<206> 社会教育課	継続 事業費(千円) 0	継続 4,180	継続 165,715		評価指標 進捗率 平成26年度の評価 地域の町内会や利用団体等による検討委員会を設置し、改修に向け、意見をまとめた。	A	A	平成26年度の評価 改修調査委託を行った。	継続 4,947		

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション		特に必要とする視点				平成26年度実績		
		年度計画			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携		地域の 教育力	総合的な 教育施策
		平成26年度の評価			平成26年度の評価				平成26年度の評価				

8-23-003 学校施設(体育館)開放事業	市民の健康維持及び体力向上に資するため、小中学校の体育館の開放を行い、スポーツ活動の場を提供する。	平成27年度 小中学校13校の開放	平成28年度 小中学校13校の開放	平成29年度 小中学校13校の開放	めざす 学校の統合に合わせて、有料化の検討を行う。	続ける	改善する	スポーツを振興するうえで、平日、身近な地域でのスポーツ練習場所の確保は重要。				平成26年度実績 小中学校13校で実施
		継続 4,930 事業費(千円)	継続 4,969	継続	継続	4,969	評価指標 利用団体数、利用者数	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	継続	4,879	

8-23-003-1 学校施設(体育館)開放事業 [拡大]	利用団体の増加に伴い、西の里中学校を追加する。	平成27年度 西の里中学校の開放	平成28年度 西の里中学校の開放	平成29年度 西の里中学校の開放	めざす 利用団体の増加に対応するため、開放校を増やす	続ける	改善する	スポーツを振興するうえで、平日、身近な地域でのスポーツ練習場所の確保は重要。				平成26年度実績
		拡大 182 事業費(千円)	継続 304	継続	継続	304	評価指標 利用団体数、利用者数	平成26年度の評価	平成26年度の評価	継続		

8-23-004 運動広場整備事業	市民のスポーツ・レクリエーションや集い、交流、健康づくりの場として運動広場を整備する。(企画財政部へ移管)	平成27年度 整備に向けた調査・検討	平成28年度 整備に向けた調査・検討	平成29年度 整備に向けた調査・検討	創る 総合運動公園計画の基礎整備的 事業として計画。整備に向け、 課題の整理を行う。	広げる	改善する	スポーツを振興するうえで、スポーツ施設環境の 充実が必要。				平成26年度実績
		見直し 0 事業費(千円)	継続 0	継続	継続	0	評価指標 進捗率	平成26年度の評価	平成26年度の評価	継続	0	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点				平成26年度実績					
		平成27年度		平成28年度		平成29年度		懐く	励む		挑む	平成26年度の評価			
		事業内容	事業費(千円)	事業内容	事業費(千円)	事業内容	事業費(千円)					生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力

4-14-005 自然の森キャン プンブ場整備事 業 [新規!]	事業内容 駐車場用地を取得、整備す る。	新規	0	平成27年度 整備に向けた調査・ 検討	平成28年度 駐車場用地取得、整 備 H28事業終了	平成29年度	備える	整える	点検する	自然の中にある同キャンブ場を開放し、心身の健 全の増進を図る場を提供する。利用者ニーズに応え る施設の運営管理を行っていく	平成26年度実績
	市計画<372> 社会教育課	新規	0	新規	15,200	0	評価指標 進捗率			平成26年度の評価	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点				平成26年度実績					
		平成27年度		平成28年度		平成29年度		懐く	励む		挑む	平成26年度の評価			
		事業内容	事業費(千円)	事業内容	事業費(千円)	事業内容	事業費(千円)					生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力

8-23-101 体育施設管理 事業 (体育施設管 理経費)	事業内容 総合体育館、緑葉公園体育 施設、住民プール、地区体 育館、自然の森キャンブ場 の管理を行う。	継続	106,994	平成27年度 指定管理者による施 設の維持管理 経常98,445千円 臨時7,432千円 営繕基金1,117円	平成28年度 指定管理者による施 設の維持管理	平成29年度 指定管理者による施 設の維持管理	めざす	整える	改善する	スポーツを振興するうえで、スポーツ施設環境の 充実が必要。 利用者の意見を反映した、効率的な施設運営が求 められている。	平成26年度実績 指定管理者による 施設の維持管理
	経常経費 社会教育課	継続	98,445	98,445	98,445	98,445	評価指標 施設利用者数、苦情件数				



【政策1～8を支える経常経費】

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画				期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績				
		平成26年度の評価				平成26年度の評価				平成26年度の評価								
		懐く	励む	挑む	点検する	めざす	続ける	点検する	めざす	懐く	励む	挑む	点検する		めざす	懐く	励む	挑む
9-00-101 教育委員に関する経費 (教育委員会運営経費)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき設置 教育委員の報酬など 教育委員会会議の開催経費 教育長交際費 全道都市教委連総会負担金	平成27年度 教育委員会会議 20回開催 全道都市教委連総会	平成28年度 教育委員会会議 20回開催 全道都市総会	平成29年度 教育委員会会議 20回開催 全道都市総会	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続
経常経費 教育総務課	継続 事業費(千円)	継続 3,095	継続 3,095	継続 3,095	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続

教育委員会事務局運営経費

9-00-102 学校業務主事に関する経費 (教育委員会事務局運営経費)	学校業務主事の任用	平成27年度 学校業務主事 14名任用 人件費・被服費用 危険物保安講習受講 手数料	平成28年度 学校業務主事 14名任用 人件費・被服費用 危険物保安講習受講 手数料	平成29年度 学校業務主事 14名任用 人件費・被服費用 危険物保安講習受講 手数料	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続
経常経費 教育総務課	継続 事業費(千円)	継続 31,868	継続 31,868	継続 31,868	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画		期待されるアクション		特に必要とする視点			平成26年度実績		
		平成26年度の評価		平成26年度の評価		生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携		地域の 教育力	総合的な 教育施策
		懐く	励む	挑む	平成26年度の視点						
9-00-103 教育委員会事務局運営経費 (教育委員会事務局運営経費)	事業内容 教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金、会議録作成支援委託	平成27年度 継続 6,489	平成28年度 継続 6,489	平成29年度 継続 6,489	めざす 市の教育施策を継続し、着実に進める。	続ける	点検する	教育委員会事務局を円滑に運営する。	平成26年度実績 教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金 継続 5,991		
経常経費 教育総務課	事業費(千円)	継続 6,489	継続 6,489	継続 6,489	評価指標 平成26年度の評価 教育委員会を円滑に推進している。	A	A	A	継続		

9-00-104 教職員永年勤続表彰 (教育委員会事務局運営経費)	事業内容 北海道教育功績者表彰規則により永年勤続表彰を受けた市内の小中学校教職員に対して伝達を行う。	平成27年度 継続 3	平成28年度 伝達式(教職員永年勤続表彰)の実施	平成29年度 伝達式(教職員永年勤続表彰)の実施	めざす 北海道教育委員会に代わり、永年勤続した教職員に対して、業績を称える式典を実施。	続ける	点検する	永年勤続した教職員に対して、その業績を称え、今後の活躍を期待する。	平成26年度実績 伝達式(教職員永年勤続表彰者5名)を8月に実施 継続 3
経常経費 学校教育課	事業費(千円)	継続 3	継続 3	継続 3	評価指標 平成26年度の評価 永年勤続表彰伝達式を実施。	A	A	A	継続

教育振興経費

9-00-105 「きたひろしまの教育」作成 (教育振興経費)	事業内容 教育全般の状況を記した「きたひろしまの教育」を編集・製本・発行する。	平成27年度 発行に係る用紙代・製本代・郵送代 79	平成28年度 発行に係る用紙代・製本代・郵送代 79	平成29年度 発行に係る用紙代・製本代・郵送代 79	めざす 市の教育理念の達成と、教育基本計画推進のため、毎年のデータを蓄積する。	続ける	点検する	本誌に掲載するデータが教育の各分野で利用されるよう、教育活動全般にわたる視点をもって編集・発行する。	平成26年度実績 300冊6月発行に係る用紙代・製本代 継続
経常経費 教育総務課	事業費(千円)	継続 79	継続 79	継続 79	評価指標 平成26年度の評価 本市の教育に係る広範な情報を掲載し、各分野で利活用された。	A	A	A	継続

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点			平成26年度実績		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携		地域の 教育力	総合的な 教育施策
		平成26年度の評価			平成26年度の評価			平成26年度の評価					
9-00-106 北広島市教育 施策審議会 (教育振興経 費)	事業内容 学識者2名、学校関係者2 名、社会教育関係者2名、 公募1名で構成し、教育施 策に関する審議及び教育委 員会の事務事業に関する点 検評価を行う。 平成23年11月設置	平成27年度 年間7回会議を開催 改選年	平成28年度 年間6回会議を開催	平成29年度 年間6回会議を開催	創る	続ける	点検する	教育委員会の事務事業は、教育基 本計画の進行管理と見直し、及び教育政策の着実な 推進に必要であり、教育活動全般にわたる視点が必 要である。	教育委員会の事務事業は、教育基 本計画の進行管理と見直し、及び教育政策の着実な 推進に必要であり、教育活動全般にわたる視点が必 要である。	6回審議会を開催 点検評価報告書へ の意見 教育推進計画 (H27～29)の検 討	平成26年度実績		
経常経費 教育総務課	継続 事業費(千円)	継続 349	継続 308	継続 308	評価指標 会議開催回数	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	平成25年度点検評価及び教育推進計画(平成27～29年 度)に関する審議を中心に活動した。	継続 303	平成26年度実績		

9-00-107 第一地区教科 用図書採択教 育委員会協 会負担金 (教育振興経 費)	事業内容 小中学校で使用する教科用 図書を採択するため、第一 地区教科用図書採択教育委 員会協議会へ参加する。	平成27年度 第一地区教科用図書 採択教育委員会協議 会への参加 随時分(採択調査負 担金) H28年度より使用 する中学校用図書採 択	平成28年度 第一地区教科用図書 採択教育委員会協議 会への参加	平成29年度 第一地区教科用図書 採択教育委員会協議 会への参加	めざす	続ける	点検する	小中学校で使用する教科用図書 を採択するには、 第一地区教科用図書採択教育委 員会協議会を通して教科用図 書を選定する必要がある。	第一地区教科用図 書採択教育委員 会協議会へ参加す ることにより、地 域の特性を踏まえ、 公平で透明性のあ る教科書採択事務 を進めることがで きた。	平成26年度実績	
経常経費 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続 112	継続	継続	評価指標 協議会への参加状況	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	第一地区教科用図書採択教育委 員会協議会に参加 することにより、 地域の特性を踏まえ、公平で透明 性のある教科書採択事務を進め ることができた。	第一地区教科用 図書を採択するこ とにより、地域 の特性を踏まえ、 公平で透明性のあ る教科書採択事務 を進めることがで きた。	継続 129	平成26年度実績

教員住宅管理経費

9-00-108 教員住宅管理 (教員住宅管 理経費)	事業内容 校長・教頭管理者住 宅、教員住宅に 関する経費	平成27年度 校長・教頭管理者住 宅電話料 教員住宅修繕料	平成28年度 校長・教頭管理者住 宅電話料 教員住宅修繕料	平成29年度 校長・教頭管理者住 宅電話料 教員住宅修繕料	めざす	続ける	点検する	校長・教頭に対し、学校の管理を迅速に行うた め、市内に住宅を提供する。また、一般教職員等に 対し住宅を提供する。	校長・教頭管理者 住宅電話料 教員住宅修繕料	平成26年度実績	
経常経費 教育総務課	継続 事業費(千円)	継続 2,679	継続 2,679	継続 2,679	評価指標 入居状況	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	校長・教頭に対し、学校の管理を迅速に行うた め、市内に住宅を提供する。また、一般教職員等に 対し住宅を提供する。	校長・教頭管理者 住宅電話料 教員住宅修繕料	継続 6,000	平成26年度実績

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画				期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績
		平成26年度の評価				平成26年度の評価				平成26年度の評価				
		懐く	励む	挑む	点検する	めざす	続ける	点検する	めざす	社会的貢献	産学官民の連携	地域の教育力	総合的な教育施策	

小学校管理経費

9-00-109 小学校運営経費 (小学校管理経費)	事務補助員の任用 業務主事の旅費 消耗品費 印刷製本費	平成27年度 小学校運営経費	平成28年度 小学校運営経費	平成29年度 小学校運営経費	めざす 学校教育環境の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。	続ける	点検する	学習環境の充実のため、学校運営にかかる補助員の配置、印刷経費等ランニングコストについては節減喚起、各学校に取り組んでもらう。	平成26年度実績 小学校運営経費
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標				継続
教育総務課	事業費(千円)	22,993	22,993	22,993	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図っている。	23,036

9-00-110 小学校管理経費 (学校教育課関係分)	全学校共通で使用する印刷物の作成及び入学通知書のH25から水質検査は学校管理費で実施	平成27年度 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	平成28年度 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	平成29年度 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	めざす 指導要録等、全学校で共通して使用する印刷物の在庫管理。	続ける	点検する	共通して使用する印刷物を一括発注することによる経費削減を図る必要がある。	平成26年度実績 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標 印刷物の発注及び水質検査実施状況				継続
学校教育課	事業費(千円)	75	75	75	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	共通して使用する印刷物を一括発注することによる経費削減を図った。	75

中学校管理経費

9-00-111 中学校運営経費 (中学校管理経費)	事務補助員の任用 業務主事の旅費 消耗品費 印刷製本費	平成27年度 中学校運営経費	平成28年度 中学校運営経費	平成29年度 中学校運営経費	めざす 学校教育環境の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。	続ける	点検する	学習環境の充実のため、学校運営にかかる補助員の配置、印刷経費等ランニングコストについては節減喚起、各学校に取り組んでもらう。	平成26年度実績 中学校運営経費
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標				継続
教育総務課	事業費(千円)	17,086	17,086	17,086	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図っている。	16,992

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画				期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績		
		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		社会貢献		産学官民の連携			総合的な教育施策	
		事業内容	継続	79	事業内容	継続	79	事業内容	継続	79	懐く	励む	挑む		環境整備	生涯学習

9-00-112 中学校管理経費 (学校教育課関係分) (中学校管理経費)	全学校共通で使用する印刷物の作成及び入学通知書の郵便料 H25から水質検査は学校管理費で実施	平成27年度 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	平成28年度 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	平成29年度 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	めざす 指導要録等、全学校で共通して使用する印刷物の在庫管理	続ける	点検する	共通して使用する印刷物を一括発注することによる経費削減を図る必要がある。	平成26年度実績 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標	印刷物の発注及び水質検査実施状況			継続
学校教育課	事業費(千円)	79	79	79	平成26年度の評価	平成26年度の評価	平成26年度の評価	共通して使用する印刷物を一括発注することによる経費削減を図った。	79

### 社会教育経費

9-00-113 社会教育事務経費 (社会教育経費)	社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他	平成27年度 社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他	平成28年度 社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他	平成29年度 社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他	めざす 社会教育関係団体登録等に係る事務手続きを円滑に進める。	続ける	点検する	社会教育事業の実施のための事務手続き等を円滑に進める。	平成26年度実績 社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標				継続
社会教育課	事業費(千円)	81	81	81	平成26年度の評価	平成26年度の評価	平成26年度の評価	状況に応じて適切に事務手続きを進めた。	167

9-00-114 社会教育委員 (社会教育経費)	社会教育法に基づき委員の生涯学習に関する諸計画の立案・助言を行う 全道管内協議会への参加	平成27年度 社会教育委員11名の報酬 道社連協研修大会 他	平成28年度 社会教育委員11名の報酬 道社連協研修大会 他	平成29年度 社会教育委員11名の報酬 道社連協研修大会 他	めざす 平成23年度より新たな2力年の任期の開始により、テーマを設け協議を進める。	続ける	点検する	市民と行政を結ぶ役割を担っている社会教育委員から、社会教育に関する提言等をいただき、具体的施策に反映していく。	平成26年度実績 社会教育委員11名の報酬 道社連協研修大会 根室開催
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標	会議開催数、大会参加者数			継続
社会教育課	事業費(千円)	547	547	547	平成26年度の評価	平成26年度の評価	平成26年度の評価	研修会への派遣や会議運営に工夫をし、会議において活発な議論がなされるよう進め、適切に意見が反映されるよう進めることが必要である。	573



事業名 (担当課)	事業内容	年度計画				期待されるアクション				特に必要とする視点				平成26年度実績	
		平成26年度の評価				平成26年度の評価				生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力		総合的な 教育施策
		懐く	励む	挑む	めざす	続ける	点検する	めざす	続ける						

保健体育事務経費

9-00-116 スポーツ推進 審議会  (保健体育事 務経費)	スポーツの振興に関する事 項について調査・審議し教 育委員会に建議する	平成27年度 審議会委員5名 報酬 費用弁償	平成28年度 審議会委員5名 報酬 費用弁償	平成29年度 審議会委員5名 報酬 費用弁償	めざす 本市のスポーツ振興に係る方策 等について意見を求める。	続ける	点検する	審議会の意見の反映。	平成26年度実績 審議会2回開催
経常経費 社会教育課	継続 事業費(千円)	継続 128	継続 128	継続 128	評価指標 平成26年度の評価 A スポーツ賞受賞候補者の諮問を 行い答申を得た。	会議開催数	平成26年度の評価 A	継続	128

9-00-117 保健体育事務 経費  (保健体育事 務経費)	借上車経費 その他事務費	平成27年度 借上車経費 その他事務費	平成28年度 借上車経費 その他事務費	平成29年度 借上車経費 その他事務費	めざす スポーツ関連事業の運営に欠か せない経費。 借上車の更新も必要。	続ける	点検する	スポーツ関連事業の円滑な運営に欠かせない借上車 の運行管理。	平成26年度実績 借上車経費 その他事務費
経常経費 社会教育課	継続 事業費(千円)	継続 602	継続 602	継続 602	評価指標 平成26年度の評価 A 予定どおり事業を実施すること ができた。	平成26年度の評価 A	平成26年度の評価 A	事業を実施するうえで、最適な環境を整備できた。	継続 589

## 施策の方向性について

前年度の個別事業におけるアクションと視点の評価を施策ごとに整理するとともに、各施策が政策を推進できているか、政策・施策・個別事業の体系は妥当か、などの観点から施策評価を行い、今後の施策の方向性を掲載します。

### 1. 各施策における個別事業の評価分布について

個別事業に係るアクション（A,B,C）と視点（A,B,C）の評価に基づき3×3の格子上に評価分布を表します。評価分布の基準は、以下のとおりです。

また、評価のない事業については、欄外に掲載します。

掲載する事業の は主要施策事業、 は経常経費を表します。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	事業を継続していく	アクションの面から充実させる	アクションの面から段階的に充実させる
B ある程度できている	視点の面から充実させる	アクション及び視点の両面から充実させる	アクション及び視点の両面から充実させ、特にアクションは段階的に充実させる
C できていない	視点の面から段階的に充実させる	アクション及び視点の両面から充実させ、特に視点は段階的に充実させる	アクションと視点の両面から段階的に充実させる、または事業の必要性を検討する

### 2. 施策の評価について

2 3の施策ごとに個別事業の評価分布等により、各施策が先人の精神と教育基本計画の視点を備えながら政策実現のために機能しているかどうかを評価します。

### 3. 今後の方向性について

今後の方向性について記載します。また、前年度評価を本計画（3年間）に生かす取組についても記載します。

### 4. 計画期間内の新たな取組について

新規事業や拡大事業等で計画期間内に新たに取り組む事業を掲載します。



政策 1 やさしく支えあう教育連携の推進

施策 1 家庭の教育力向上への支援内容の充実

1. 個別事業の評価分布

平成 26 年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	家庭教育支援事業 北広島市 P T A 連合会支援事業		
B ある程度 できている			
C できていない			

2. 施策の評価

施策 1「家庭の教育力向上への支援内容の充実」では、あたたかな家庭づくりへの支援や家庭の教育力向上のための連携を進めました。

評価分布では、すべての個別事業でアクション及び視点が反映されています。

3. 今後の方向性

施策 1 の個別事業は、アクション及び視点とも、すべての事業に反映されていますが、更に、家庭の教育力向上への支援内容の充実を図る必要があり、今後も継続していくこととします。

なお、家庭教育支援に関しては、きたひろしま生活シートの取り組みによる 3 か年データをもとに、家庭の教育力向上のための啓発活動や実践活動を展開していくこととします。

政策 1 やさしく支えあう教育連携の推進

施策 2 教育相談体制の充実

1. 個別事業の評価分布

平成 26 年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	不登校いじめ対策・教育相談事業 青少年健全育成啓発事業		
B ある程度 できている			
C できていない			

2. 施策の評価

施策 2「教育相談体制の充実」では、いじめや不登校の問題を解決するため、関係機関との連携強化及び専門的知識を有する人材の活用を図りました。

評価分布では、すべての個別事業でアクション及び視点が反映されています。

3. 今後の方向性

施策 2 の個別事業は、アクション及び視点とも、すべての事業に反映されていることから、概ね、教育相談体制の充実が図られており、今後も継続していくこととします。

また、平成 25 年度に制定された「いじめ防止対策推進法」に基づき、いじめ防止等の対策を総合的、効果的に進めていくため、「北広島市いじめ防止基本方針」を策定したことから、いじめの防止等に取り組んでいくこととします。

4. 計画期間内の新たな取組みについて

拡大事業      不登校いじめ対策・教育相談事業



政策 1 やさしく支えあう教育連携の推進

施策 3 地域が支える健全育成活動の充実

1. 個別事業の評価分布

平成 26 年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	青少年健全育成連絡協議会支援事業 青少年安全対策事業 放課後子ども教室事業 成人式開催事業 青少年健全育成振興事業 青少年健全育成推進委員会 青少年健全育成経費		
B ある程度 できている			
C できていない			

2. 施策の評価

施策 3 「地域が支える健全育成活動の充実」では、学校・家庭・地域が一体となり青少年の健全育成推進のための活動を行うとともに、子どもたちの安全安心な環境づくりを進めました。

評価分布では、すべての個別事業でアクション及び視点が反映されています。

3. 今後の方向性

施策 3 の個別事業は、アクション及び視点とも、すべての事業に反映されていることから、今後も継続していくこととします。

なお、放課後子ども教室に関しては、引き続き大曲小学校で実施するとともに、今後の放課後子ども教室のあり方についての検討を進めていくこととします。

4. 計画期間内の新たな取組みについて

拡大事業      放課後子ども教室事業

政策2 「生きる力」を育む学校教育の推進

施策4 幼児教育の振興・充実

1. 個別事業の評価分布

平成26年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	幼稚園協会連携事業 幼稚園振興事業 幼保小連携推進事業		
B ある程度 できている			
C できていない			

幼稚園就園奨励費事業・・・他部局実施

幼稚園就園準備支援事業・・・他部局実施

2. 施策の評価

施策4「幼児教育の振興・充実」では、幼保小の連携を推進するとともに、幼稚園経営の安定化と幼児教育の充実を図りました。

評価分布では、すべての個別事業でアクション及び視点が反映されています。

3. 今後の方向性

施策4の個別事業は、アクション及び視点とも、概ね、事業に反映されていることから、幼児教育の振興・充実が図られており、今後も継続していくこととします。

なお、幼保小連携推進については、平成26年12月策定の「北広島幼児教育連携アクションプラン」に基づき、市内幼稚園、保育園、小学校の教職員を対象とした研修会や保護者間交流などを継続的に実施していくこととします。

4. 計画期間内の新たな取組みについて

新規事業      幼保小連携推進事業

政策2 「生きる力」を育む学校教育の推進

施策5 豊かな心を育む教育の充実

1. 個別事業の評価分布

平成26年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	学校教育振興事業 創意工夫展・書写展事業 心の教育推進事業 心の教室相談事業		
B ある程度 できている		学校図書館活用事業	
C できていない			

2. 施策の評価

施策5「豊かな心を育む教育の充実」では、各校の教育振興協議会の活動を通して特色ある教育活動が行われるとともに、命を大切にする心の教育や読書活動を通して、豊かな心を育む教育を推進しました。

評価分布では、4つの個別事業でアクション及び視点が反映されていますが、学校図書整備事業ではアクション及び視点ともに反映されていない部分があります。

3. 今後の方向性

施策5の個別事業は、アクション及び視点とも、概ね、事業に反映されていることから、豊かな心を育む教育の充実が図られており、今後も継続していくこととします。

なお、学校図書館活用事業については、図書館活用の取り組みや中学生の読書活動の推進を図る必要があります。

政策2 「生きる力」を育む学校教育の推進

施策6 確かな学力を育てる教育の充実

1. 個別事業の評価分布

平成26年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	学校教育相談員活用事業 学力向上推進事業 小学校教育振興経費 中学校教育振興経費		
B ある程度 できている			
C できていない			

2. 施策の評価

施策6「確かな学力を育てる教育の充実」では、基礎・基本的な学力の定着やそれらを活用する力を育成するため、課題を明確にして学校と教育委員会が連携して学力向上の取組を進めました。

評価分布では、すべての個別事業でアクション及び視点が反映されています。

3. 今後の方向性

施策6の個別事業は、アクション及び視点とも、すべての事業に反映されていることから、概ね、確かな学力を育てる教育の充実が図られており、継続していくこととします。

政策2 「生きる力」を育む学校教育の推進

施策7 健やかな体を育てる教育の充実

1. 個別事業の評価分布

平成26年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	中学校体育連盟支援事業 全国全道中体連・中学校文化部活動大会出場支援事業 食に関する指導の推進事業 学校保健事業 スポーツ振興センター負担金等 北広島市小・中学校給食運営委員会経費 学校給食施設維持管理経費 学校給食運営経費 北海道学校給食研究協議会負担金		
B ある程度 できている		学校給食衛生管理事業	
C できていない			

2. 施策の評価

施策7「健やかな体を育てる教育の充実」では、中学校体育連盟への支援等により学校におけるスポーツや文化の振興を図るとともに、学校保健安全法に基づく健康診断等の実施を通して児童生徒、教職員の健康と健やかな体を育てる教育を推進しました。

評価分布では、学校給食衛生管理事業にあってはアクション及び視点の両面で反映されない部分がありますが、それ以外の個別事業ではアクション及び視点で反映されています。

3. 今後の方向性

施策7の個別事業は、アクション及び視点とも、概ね、事業に反映されていることから、健やかな体を育てる教育の充実が図られており、今後も継続していくこととします。

また、学校給食費については、事務の透明性や負担の公平性を担保するため、公会計化に向けた検討を図ります。

4. 計画期間内の新たな取組みについて

- 拡大事業      学校給食衛生管理事業
- 食に関する指導の推進事業



政策2 「生きる力」を育む学校教育の推進

施策8 特別支援教育の充実

1. 個別事業の評価分布

平成26年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	特別支援教育就学奨励費援助事業 就学指導委員会 特別支援教育アドバイザーの配置 特別支援教育関連協議会		
B ある程度 できている	特別支援教育推進事業		
C できていない			

2. 施策の評価

施策8「特別支援教育の充実」では、特別支援教育支援員の増員を図るなど、特別な支援や配慮を必要とする児童生徒の個々の教育ニーズに対応した支援体制の充実や、特別支援教育に対する教職員等の資質の向上等の取組を進めました。

評価分布では、4つの個別事業でアクション及び視点が反映されていますが、特別支援教育推進事業ではアクション面で反映されていますが、視点の面で反映されていない部分があります。

3. 今後の方向性

施策8の個別事業は、アクション及び視点とも、概ね、事業に反映されていることから、特別支援教育の充実が図られており、今後も継続していくこととします。

なお、特別支援教育推進事業については、支援員を全小中学校に配置し、支援環境の充実を図ります。

政策2 「生きる力」を育む学校教育の推進

施策9 社会の変化や課題に対応した教育の充実

1. 個別事業の評価分布

平成26年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	外国語指導助手活用事業 学校ICT環境整備事業 姉妹都市子ども大使交流事業		
B ある程度 できている	郷土資料教材化事業		
C できていない			

2. 施策の評価

施策9「社会の変化や課題に対応した教育の充実」では、国際理解、情報、環境、福祉、人権、平和など様々な課題に対して主体的に取り組もうとする態度・能力の育成など「社会の変化や課題に対応できる力」を育む教育を推進しました。

評価分布では、3つの個別事業でアクション及び視点が反映されていますが、郷土資料教材化事業においては視点の面で反映されていない部分があります。

3. 今後の方向性

施策9の個別事業は、アクション及び視点とも、概ね、事業に反映されていることから、社会の変化や課題に対応した教育の充実が図られており、今後も継続していくこととします。

なお、学校ICT環境整備については、校務用パソコンの更新にタブレット機能有する端末や無線通信機能の強化し、充実した教育環境の整備を図るとともに、郷土資料のデジタル化を推進する必要があります。

政策3 信頼され、魅力ある学校づくりの推進

施策10 開かれた学校づくりの推進

1. 個別事業の評価分布

平成26年度に実施した個別事業の評価区分は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	学校評議員等運営支援事業 コミュニティ・スクールの導入促進に 関する調査研究事業		
B ある程度 できている	学校施設開放事業		
C できていない			

2. 施策の評価

施策10「開かれた学校づくりの推進」では、学校関係者からの学校に対する意見や評価の活用などを通して信頼性の向上と学校改善を図り、開かれた学校づくりを推進しました。

評価分布では、2つの個別事業でアクション及び視点が反映されていますが、学校施設開放事業では視点の面で反映されていない部分があります。

3. 今後の方向性

施策10の個別事業は、アクション及び視点とも、概ね、事業に反映されていることから、開かれた学校づくりの推進が図られており、今後も継続していくこととします。

なお、学校施設開放事業については、学校長の許可により学校施設の利用が可能なことから、規則の一部改正を行い、平成26年度で事業を終了することとします。

政策3 信頼され、魅力ある学校づくりの推進

施策1.1 教育環境の整備

1. 施策1.1の個別事務事業評価分布

平成26年度に実施した個別事業の評価区分は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	学校教育団体活動支援事業 教師用指導書等整備事業 学校施設空気環境測定事業 学校事務機器整備事業 理科教材等整備事業 学校施設管理機器整備事業 北の台小学校校舎屋体大規模改造・屋体地震補強事業 緑陽中学校校舎屋体地震補強・大規模改造事業 広葉中学校校舎・講堂防音機能復旧事業 緑ヶ丘小学校校舎・講堂防音機能復旧事業 屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業 東部中学校校舎大規模改造事業 大曲中学校北校舎棟大規模改造事業 学校支援地域本部事業 児童生徒の通学費支援事業 高等学校等入学準備金支給事業 要保護・準要保護児童生徒援助事業 奨学金支給事業 私立学校教育振興事業 義務教育施設整備基金利息積立 小学校管理経費 中学校管理経費 中学校教育振興経費(学校教育課分) 教育環境研究事業 奨学生選考委員会 緑陽中学校フェンス設置事業 北広島市立小学校及び中学校通学区区域審議会		
B ある程度 できている			
C できていない			

- 学校放送設備整備事業・・・該当なし
- 東部小学校講堂防音機能復旧事業・・・該当なし
- 学校施設非構造部材耐震化事業・・・該当なし
- 大曲東小学校講堂防音機能復旧事業・・・該当なし
- 東部中学校講堂防音機能復旧事業・・・該当なし

## 2. 施策の評価

施策11「教育環境の整備」では、学校支援地域本部事業における学校運営委員会や学校支援コーディネーターによる支援、就学が困難な児童生徒の保護者への支援、老朽化や児童生徒の増減に応じた教育施設の整備などの事業を通じて、良好な教育環境づくりを進めました。

評価分布では、すべての個別事業でアクション及び視点が反映されています。

## 3. 今後の方向性

施策11の個別事業は、アクション及び視点とも、すべての事業に反映されていることから、概ね、教育環境の整備が図られており、今後も継続していくこととします。

老朽化した教育施設については、補助制度等を活用しながら計画的に改修することとし、平成27年度は、北の台小学校校舎屋体大規模改造・屋体地震補強事業、緑陽中学校校舎屋体地震補強・大規模改造事業、広葉中学校校舎・講堂防音機能復旧事業（繰越明許）、緑ヶ丘小学校校舎・講堂防音機能復旧事業、西の里中学校、大曲中学校の屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業、大曲中学校北校舎棟大規模改造事業の工事、東部小学校講堂防音機能復旧事業、東部中学校講堂防音機能復旧事業の実施設計を行います。

## 4. 計画期間内の新たな取り組みについて

新規事業	西の里中学校校舎防音機能復旧事業
	西の里小学校校舎防音機能復旧事業
	小中学校周辺環境整備事業



政策4 学びあい、教えあう社会教育の推進

施策12 市民の学習活動への支援内容の充実

1. 個別事業の評価分布

平成26年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	生涯学習市民活動団体支援事業 元気フェスティバル連携事業	生涯学習振興会支援 事業	
B ある程度 できている			
C できていない			

2. 施策の評価

施策12「市民の学習活動への支援内容の充実」では、身近な学習機会の充実を図り、市民の主体的な学習活動を支援する環境づくりを進めました。

評価分布では、2つの個別事業でアクション及び視点が反映されていますが、生涯学習振興会支援事業ではアクションの面で未設置地域への対応が反映されていない部分があります。

3. 今後の方向性

施策12の個別事業は、アクション及び視点とも、概ね事業に反映されていることから、市民の学習活動への支援の充実が図られており、今後も継続していくこととします。

なお、生涯学習振興会支援については、未設置地域での設立準備に取り組む必要があります。

政策4 学びあい、教えあう社会教育の推進

施策13 地域や世代を見据えた学習機会の充実

1. 個別事業の評価分布

平成26年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	国際交流事業 フレンドリーセンター運営事業 生涯学習支援情報システム整備事業		
B ある程度 できている			
C できていない			

中央公民館活動推進事業・・・該当なし

2. 施策の評価

施策13「地域や世代を見据えた学習機会の充実」では、多様で実情に合った学習機会や交流機会の提供を推進し、良好な環境づくりを進めました。

評価分布では、すべての個別事業でアクション及び視点が反映されています。

3. 今後の方向性

施策13の個別事業は、アクション及び視点とも、すべての事業に反映されていることから、概ね、地域や世代を見据えた学習機会の充実が図られており、今後も継続していくこととします。

なお、フレンドリーセンター運営事業については、施設の老朽化対策などを検討する必要があります。

また、中央公民館活動推進事業は、事業のあり方ならびに施設の管理運営方法について、引き続き検討する必要があります。

政策4 学びあい、教えあう社会教育の推進

施策14 施設の充実による学習環境の整備

1. 個別事業の評価分布

平成26年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	中央公民館大規模改修事業 林間学園・レクリエーションの森開放事業 公民館管理事業 社会教育施設等草創経費		
B ある程度 できている			
C できていない			

2. 施策の評価

施策14「施設の充実による学習環境の整備」では、市民が利用しやすい社会教育施設の運営を図り、市民の主体的な学習活動を支援するための学習環境づくりを進めました。

評価分布では、すべての個別事業でアクション及び視点が反映されています。

3. 今後の方向性

施策14の個別事業は、アクション及び視点とも、すべて事業に反映されていることから、概ね、施設の充実による学習活動の整備が図られており、今後も継続していくこととします。

今後、西の里公民館の改修、フレンドリーセンター施設解体について公共施設等総合管理計画で検討するとともに、林間学園・レクリエーションの森整備については、老朽化対策も含め、施設のあり方について検討する必要があります。

4. 計画期間内の新たな取り組みについて

- 新規事業      西の里公民館改修事業
- フレンドリーセンター施設解体工事事業
- 林間学園・レクリエーションの森整備事業

政策 5 郷土愛を育む教育活動の推進

施策 1 5 エコミュージアム構想の展開

1. 個別事業の評価分布

平成 26 年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	エコミュージアム普及推進事業 エコミュージアム拠点施設等整備事業		
B ある程度 できている		旧島松駅通所周辺整備事業	
C できていない			

2. 施策の評価

施策 1 5 「エコミュージアム構想の展開」では、郷土の歴史や伝統的遺産を大切にす  
る心を培い、自らのまちを誇りに思う郷土愛を育む学習機会を提供するとともに、各地  
域の自然遺産・歴史遺産・産業遺産等を現地において保全・活用する環境づくりを進め  
る拠点施設となる、エコミュージアムセンター知新の駅を開設しました。

評価分布では、エコミュージアム普及推進事業、エコミュージアム拠点施設等整備事  
業については、アクション及び視点とも反映されています。旧島松駅通所周辺整備事業  
では、総合行政的な視点から政策調整課を中心に検討を進めることとしました。

3. 今後の方向性

施策 1 5 の個別事業を通じて、概ね、エコミュージアム構想の実現に向けた環境整備  
が進められていることから、拠点施設の運営と企画事業を通じ、引き続き学習機会の提  
供を展開するとともに、サテライトや発見の小径などを設定していく必要があります。

また、旧島松駅通所周辺整備については、総合行政的な視点から企画財政部を中心に  
関係部局と検討し、将来にわたる方向性を定める必要があります。

政策 5 郷土愛を育む教育活動の推進

施策 16 文化財の保存と活用

1. 個別事業の評価分布

平成 26 年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている			
B ある程度 できている	文化財保存・活用事業 郷土文化伝承支援事業		
C できていない			

2. 施策の評価

施策 16 「文化財の保存と活用」では、史跡や歴史資料を適切に保存し、その活用により歴史や文化に対する市民の理解を深め、貴重な文化財の保護を進めました。

評価分布では、文化財保存・活用事業、郷土文化伝承支援事業については、共に視点の面で反映されていない部分があります。

3. 今後の方向性

施策 16 の個別事業は、アクション及び視点とも、概ね、事業に反映されていることから、文化財の保存と活用が図られており、今後も継続していくこととします。

なお、各種保存会への支援方法等を引き続き検討する必要があります。



政策 6 生涯にわたる読書活動の推進

施策 17 図書館サービスの充実

1. 個別事業の評価分布

平成 26 年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	図書館サービス提供事業 図書館運営 図書館利用モニター 北広島市図書館協議会		
B ある程度 できている	図書館フィールドネット連携事業 読書環境整備事業		
C できていない			

2. 施策の評価

施策 17「図書館サービスの充実」では、市民が求める資料と情報の提供を図るため、図書や雑誌などの資料の充実に努めるとともに、市民が利用しやすい環境づくりを進めました。

評価分布では、4つの個別事業でアクション及び視点が反映されていますが、図書館フィールドネット連携事業と読書環境整備事業では視点の面で反映されていない部分があります。

3. 今後の方向性

施策 17の個別事業は、アクション及び視点とも、概ね、事業に反映されていることから、図書館サービスの充実が図られており、今後も継続することとします。

なお、読書環境整備事業については、団地住民センターや西の里分館の整備が課題となっています。

政策 6 生涯にわたる読書活動の推進

施策 18 子どもの読書活動推進

1. 個別事業の評価分布

平成 26 年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている			
B ある程度 できている	幼児読書活動推進事業		
C できていない			

2. 施策の評価

施策 18 「子どもの読書活動推進」では、「北広島市子どもの読書活動推進計画」に基づく幼児の読書活動の推進を図りました。

評価分布では、視点において反映されていない部分があります。

3. 今後の方向性

施策 18 は、アクション及び視点とも、概ね、事業に反映され、子どもの読書活動の推進が図られており、今後も継続していくこととします。

なお、幼児読書活動推進事業については、対象施設を拡大するための手法等を検討する必要があります。

政策 7 芸術文化活動の振興

施策 19 個性豊かな地域文化の振興

1. 個別事業の評価分布

平成 26 年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	文化賞等表彰事業 市民文化祭奨励事業 文化団体活動支援事業 文化施設維持管理 芸術文化ホール管理 北広島市芸術文化振興審議会		
B ある程度 できている		文化施設修繕事業 芸術文化ホール設備 修繕事業	
C できていない			

2. 施策の評価

施策 19 「個性豊かな地域文化の振興」では、芸術文化の創造を担う人材の育成と活動の場の提供を行うとともに、優れた文化活動や市民が主体的に取り組む芸術文化活動への支援を行い、文化施設の計画的な改修と整備を進めました。

評価分布では、6つの個別事務事業でアクション及び視点が反映されていますが、文化施設修繕事業、芸術文化ホール設備修繕事業ではアクション及び視点の面で反映されていない部分があります。

3. 今後の方向性

施策 19 の個別事業は、アクション及び視点とも、概ね、事業に反映されていることから、個性豊かな地域文化の振興を図り、今後も継続していくこととします。

なお、文化施設修繕事業及び芸術文化ホール設備修繕事業については、改修プランに基づき計画的に実施することとします。

政策 7 芸術文化活動の振興

施策 20 市民等との連携による芸術文化活動の展開

1. 個別事業の評価分布

平成 26 年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	芸術文化ホール運営委員会連携事業 花ホールスタッフの会支援等事業		
B ある程度 できている			
C できていない			

2. 施策の評価

施策 20 「市民等との連携による芸術文化活動の展開」では、市民との協働によるボランティア組織により芸術文化ホールの運営を進め、市民が芸術文化に親しめる環境づくりを進めました。

評価分布では、すべての個別事業でアクション及び視点が反映されています。

3. 今後の方向性

施策 20 の個別事業は、アクション及び視点とも、すべての事業に反映されていることから、市民等との連携による芸術文化活動の展開が図られており、今後も継続していくこととします。

政策 8 健康づくりとスポーツ活動の推進

施策 2 1 健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進

1. 個別事業の評価分布

平成 26 年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	きたひろしま 30 Km ロードレース連携事業 市民スポーツ活動推進事業 スポーツ推進委員		
B ある程度 できている			
C できていない			

2. 施策の評価

施策 2 1 「健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進」では、市民との協働や生涯学習振興会との連携による各種スポーツ教室やスポーツ活動を推進しました。

評価分布では、すべての個別事業でアクション及び視点が反映されています。

3. 今後の方向性

施策 2 1 の個別事業は、アクション及び視点とも、すべての事業に反映されていることから、健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進が図られており、今後も継続していくこととします。

なお、市民スポーツ活動推進事業については、各事業のあり方について検討する必要があります。



政策 8 健康づくりとスポーツ活動の推進

施策 2 2 競技スポーツの振興

1. 個別事業の評価分布

平成 26 年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	全国中学生空手道選抜大会連携事業 スポーツ大会出場支援事業 スポーツ賞等表彰事業 体育協会活動支援事業	スポーツアカデミー 事業 スポーツ少年団育成 事業	
B ある程度 できている			
C できていない			

姉妹都市スポーツ交流事業・・・該当なし

2. 施策の評価

施策 2 2 「競技スポーツの振興」では、北広島少年スポーツアカデミーにおける選手の強化や指導者の養成、更には、国際大会や全国大会等への出場を支援するほか、スポーツ表彰を行うなど、競技スポーツの振興のための環境づくりを進めました。

評価分布では、4つの個別事業でアクション及び視点が反映されていますが、スポーツアカデミー事業とスポーツ少年団育成事業ではアクションの面で事業内容の見直し等が反映されていない部分があります。

3. 今後の方向性

施策 2 2 の個別事業は、アクション及び視点とも、概ね、事業に反映されていることから、競技スポーツの振興が図られており、今後も継続していくこととします。

なお、姉妹都市スポーツ交流事業については、生徒数の減少とともに部活動種目の減少もあり、平成 26 年度に引き続き事業休止としました。

政策 8 健康づくりとスポーツ活動の推進

施策 2 3 スポーツ施設の整備と運営

1. 個別事業の評価分布

平成 26 年度に実施した個別事業の評価分布は下表のとおり。

アクション 視点	A できている	B ある程度できている	C できていない
A できている	大曲ファミリー体育館改修事業 学校施設（体育館）開放事業 体育施設管理事業		
B ある程度 できている			
C できていない			

西の里ファミリー体育館改修事業・・・該当なし  
 運動広場整備事業・・・該当なし  
 自然の森キャンプ場整備事業・・・該当なし

2. 施策の評価

施策 2 3 「スポーツ施設の整備と運営」では、市民が安心して利用しやすいスポーツ施設の計画的な整備と改修を図り、学校開放事業をはじめとしたスポーツ環境づくりを進めました。

評価分布では、すべての個別事業でアクション及び視点が反映されています。

3. 今後の方向性

施策 2 3 の個別事業は、アクション及び視点とも、すべての事業に反映されていることから、スポーツ施設の整備と運営が図られており、今後も継続していくこととします。

なお、学校施設（体育館）開放事業については、平成 27 年度から西の里中学校体育館を加え、14 校の学校体育館を開放していくこととします。

4. 計画期間内の新たな取り組みについて

拡大事業      学校施設（体育館）開放事業

北広島市教育基本計画(2011-2020)  
推進計画《平成 27～29 年度》

【担当】教育部教育総務課  
☎ 011-372-3311

**[表紙写真]**

史跡旧島松駅通所の池に咲く「ハス」  
北広島フォトクラブ 松田 光浩 氏 撮影（2008年8月）

**[解 説]**

駅通所の「ハス」は、中山久蔵が道南の大野町（現在の北斗市）から、水稻「赤毛」の種もみとともにレンコン（蓮根）を食用にと持ち込み、明治6年（1873年）に久蔵宅の池（通称ハス池）で栽培を始めたことに由来する。

「ハス」は越冬が難しく、寒冷地に生息するのは珍しい。  
久蔵が栽培したハスも一時的に姿を消したが、平成3年（1991年）にハス根を再び移植し、復元された。例年、8月上旬から咲き始め、鮮やかなピンク色の花が訪れる人の心を和ませている。